

※今後の方向について  
 拡充: 取組を発展・拡充させる      現状維持: これまでの取組を継続する  
 見直し: 取組の手法や、要件、対象、事業規模などを見直す  
 終了(完了): 事業目的を達成した取組  
 終了(休止): 課題等があり、事業を中止している取組

1. 市民啓発及び地域との交流の推進

1 多様な啓発の推進

		計画		令和3年度実績	
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	取り組み内容	今後の方 向
(1) 人権・人命の尊重	人権政策 室	人権尊重のまちづ くりへの総合的取 り組み	人権尊重の理念の浸透と 障害者への差別をはじ め、あらゆる差別の撤廃 に向け、啓発や学習を進 めていきます。	人権尊重のまちづくりを実現するために、枚方人権まちづくり協会へ委託し、講座 「生きること」、人権文化セミナー、人権週間事業及び北朝鮮人権侵害問題啓発 週間事業を実施しました。	現状維持: これまでの 取組を継続 する
	児童生徒 支援課			①人権教育担当者を対象に研修会を実施しました。 令和3(2021)年11月22日(月曜日) テーマ わたしからはじめる部落問題学習 講師 一般社団法人大阪人権協会 柴原 浩嗣 さん ②例年、地域人材等の活用による職業講話、職業体験等を通して生徒は障害に 関する理解を深めていますが、令和3年度も新型コロナウイルス感染症対策のた め、オンラインで職業体験をした学校もありましたが、実際に事業所等に赴く職業 体験はありませんでした。 ③枚方市PTA協議会の中に子ども人権啓発委員会等を組織するとともに、家庭 や地域との連携を深め、人権意識の高揚・啓発を積極的に推進しました。	現状維持: これまでの 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しょかん か 所管課	しきくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ ないよう 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 回
(1) じんけん・じんめいの 尊重	じんじか 人事課	しよくいんけんしゅう じっし 職員研修の実施	しょうがい かん りかい ふか 障害に関する理解を深め るため、人権や障害に関 する職員研修を行いま す。また、手話研修など、 障害への認識を深める取 り組みを継続します。	しんにゆうしよくいん たいしょう けんしゅう 新入職員を対象とした研修において、障害者差別解消法に関する知識習得のた め、担当部署の職員より説明を受ける機会を設けました。(64人参加) また、例年実施している車椅子や視覚障害のある方への誘導や案内方法の体験 研修については、令和3年度の新入職員及び新型コロナウイルス感染症の影響 で中止とした令和2年度の新入職員を対象に7月に実施しました。 手話研修は公募により、講義「聴覚障害への理解」及び「手話演習」の全2回を実 施しました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいきかく 障害企画 課			しんにゆうしよくいん しょうがい かん りかい ふか けんしゅう おこな しゅわけんしゅ 新入職員に対し、障害に関する理解を深めるための研修を行ったほか、手話研 修や外部研修への参加等を行い、障害への認識を深める取組みを実施しまし た。	げんじょういじ 現状維持： これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいしえん 障害支援 課			しんにゆうしよくいん たい しょうがい かん りかい ふか けんしゅう おこな 新入職員に対し、障害に関する理解を深めるための研修を行いました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ ないよう 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(2) 虐待や差別の防止	けんこう ふくし 健康福祉 そうごう そうだん 総合相談 か 課	しょうがいしや けんり いう 障害者の権利擁 護と成年後見制度 の利用援助の充 うじつ 実	ちてき しょうがいしや せいしんしょうがい 知的障害者、精神障害 しや にんちしやう こうれいしや とう け 者、認知症高齢者等の権 んり いうご はか せ 利擁護を図るために、成 いねるうけん せいど そう 年後見制度について、相 だん う えんじよ たいせい 談を受け援助できる体制 を整備し、事業の充実に つと 努めます。	けんこうふくし そうごう そうだんか まどぐち かぐちいき ほうかつ しえん 健康福祉総合相談課窓口・各地域包括支援センターにて成年後見制度の相談 たいおう せいど しんせいじ しょうい さくせい えんじよ おこな しちやう もうした けんおこな 対応や制度申請時の書類作成の援助を行っています。市長申立ては11件行いま した。	げんじやういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいしえん 障害支援 か 課			れいわ ねん がつ せいねんこうけんせいど りやうしえんじぎやう たいしやう かくだい こうけんせいど りよ 令和3年4月から、成年後見制度利用支援事業の対象を拡大し、後見制度を利用 う せいかつ ほうごとう ていしよとくしや えんかつ せいねんこうけんせいど りやう しえ 用する生活保護等の低所得者が、より円滑に成年後見制度を利用できるよう支 援しました。	げんじやういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	けんこう ふくし 健康福祉 せいさく か 政策課			しょうがいしや にんちしやうこうれいしや けんりやうご はか ちゅうかくきかん がつ 障害者や認知症高齢者の権利擁護を図るため、中核機関として、7月に「ひらか けんりやうごせいねんこうけん かいせつ けんりやうご かか そう た権利擁護成年後見センター（こうけんひらかた）」を開設し、権利擁護に係る相 だんまどぐち しゅうやくか めいかくか かんけいだんたいかん こうちく ほんに 談窓口を集約化・明確化し関係団体間のネットワーク構築や、チームによる本人 んしえんたいせい せいび すす 支援体制の整備を進めています。	かくじゅう とりくみ 拡充：取組 を発展・拡 充させる

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しょかん か 所管課	しきくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ 取り組み内容	こんご 今後の方 こう 向
(2) 虐待や差別の防止	けんこう ふくし 健康福祉 そうごう そうだん 総合相談 か 課	けんりようご 権利擁護のため の制度等の周知	せいねんこうけん せいど しゃかいふく 成年後見制度や社会福 祉協議会が実施してい る権利擁護のための取 組みについて障害のある 人家族への周知を図る とともに、広報、パンフレ ットの発行や窓口等にお ける情報を提供します。	けんこうふくし そうごう そうだん かまどぐち かくひらかたしちいきほうかつしえん 健康福祉総合相談課窓口・各枚方市地域包括支援センターにて相談に対応し、 必要に応じて関係機関の紹介、関係資料を配布しました。	げんじよういじ 現状維持：  これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいしえん 障害支援 か 課			せいねんこうけんせいど かん まどぐち ようい せいねんこうけんせいど じょうほう ひつよう 成年後見制度に関するパンフレットを窓口に用意し、成年後見制度の情報を必要 とされる市民に対し配布し、成年後見制度の仕組みや手続き等の情報提供を行 いました。	げんじよういじ 現状維持：  これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	けんこう ふくし 健康福祉 せいさく か 政策課			しょうがいしや にんちしょうこうれいしや ちいきせいかつ ささ しゃかいふくしきょうぎかい れんけい 障害者や認知症高齢者の地域生活を支えるため、社会福祉協議会と連携し、ひ らかたけんりようごせいねんこうけん ふくし りようえんじょじぎょ らかた権利擁護成年後見センター（こうけんひらかた）や福祉サービス利用援助 事業の中で、成年後見制度や権利擁護のための取り組みについて周知を図りま した。	げんじよういじ 現状維持：  これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しやく 基 策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	と 取組み	と 取組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(2) 虐待や差別の防止	しょうがいしえん 障害支援 課	ぎやくたい たいおう 虐待への対応	しょうがいしゃ ぎやくたいぼうし 障害者への虐待防止の ため、障害者虐待防止セ ンターで、24時間365日体 制で相談・通報に対応し ます。関係機関と連携し、 虐待発見後の迅速、かつ 適切な対応を図ります。	へいせい ねん がつ しょうがいしやぎやくたいぼうし ほう しこう ひらかたし しょうがいしやぎやくたいぼうし 平成24年10月に障害者虐待防止法が施行され、枚方市障害者虐待防止セン ターを設置しています。相談・通報の電話受けは24時間365日で、その他市内7 か所の障害者相談支援センターの協力を得て、受付を行っています。また虐待の 防止、迅速な対応のため、関係機関との連携、情報共有の場として関係機関会 議を年1回開催しています。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいしえん 障害支援 課	しょうがいしやさべつかいしょう 障害者差別解消 法への対応	しょうがいしゃ たい さべつ か 障害者に対する差別の解 消に資する取り組みとし て、関係機関とネットワー ク組織を構築し、情報の 収集および共有を図りま す。相談事案に対し、関 係機関や大阪府と連携 し、差別解消に向けた取 組みを推進します。	しんがた かんせんしょう かんせんかくだい ひらかたししょうがいしやさべつかいしょうしえんちいききょうぎ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、枚方市障害者差別解消支援地域 協議会の開催が難しい中、事務局会議において、相談事案の協議を行うとともに に、大阪府広域支援相談員と連携して相談事案に対応し、差別解消に向けた取 組みを行いました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	と 取り組み	と 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう ほう 向
(3) 合理的配 慮	じどうせいと 児童生徒 しえん か 支援課	しょうがいしゃ りかい 障害者への理解 ふか きょういく を深める教育	しょう ちゅうがっこう 小・中学校においては、 がくねん あ 学年に合わせて、さまざま しょうがい かん しょうがいしゃ な障害に関する障害者 りかい きょういく すす 理解教育を進めます。	<p>さっし さくせい かつよう ○冊子の作成・活用 ひらかたしじんけんきょういくけんしゅうかい こうえんろく ・「枚方市人権教育研修会講演録」</p> <p>しりょう かつよう ○資料の活用 じんけんきょういく しりょう おおさかふ きょういくいんかい ・「人権教育のための資料」(大阪府教育委員会) がっこう じんけんきょういくすいしん じれいしゅう おおさかふ きょういくいんかい ・「学校における人権教育推進のための事例集」(大阪府教育委員会) じんけんきょういく しどうほうとう おおさかふ きょういくいんかい ・「人権基礎教育指導事例集」(大阪府教育委員会) じんけんきょういく しどうほうとう あ かた だいいちじ ・「人権教育の指導方法等の在り方について」[第一次とりまとめ][第二次とりまと め][第三次とりまとめ](人権教育の指導方法等に関する調査研究会議) だいさんじ じんけんきょういく しどうほうとう かん ちようさけんきゅうかいぎ ・「ともに学び、ともに育つ障害教育の充実のために」(大阪府教育委員会) まな そだ しょうがいきょういく じゅうじつ おおさかふ きょういくいんかい ・「ともに学び、ともに育つ障害教育の充実のために」(大阪府教育委員会) せいしんしょう りかい ふか おおさかふ きょういくいんかい ・「精神障がいについて理解を深めるために」(大阪府教育委員会)</p> <p>いちりつしょうちゅうがっこう しゅたいてき とりくみ ○市立小中学校における主体的な取組 れいねん かき とお かくがっこう たいけんじっしゅう おこな 例年下記の通り、各学校で体験実習を行っています。令和3年度は新型コロナ ウイルス感染症感染防止対策のため、実施できなかった体験実習・学習会が ありました。 しかくしょうがい しんたいしょうがい かん さんかたいけんがた けんしゅうかい たいけん くるま た ・視覚障害や身体障害に関する参加体験型の研修会(アイマスク体験、車いす体 験)の実施 もうどうけん かん こうわ じっし ・盲導犬に関する講話の実施 てんじ かくだいきょうかしょ しゅわ かん がくしゅうかい はくじょう かん たいけんがくしゅう じっし ・展示・拡大教科書や手話に関する学習会、白杖に関する体験学習の実施 ちいき しょうがいしゃ じゅさんしせつ こうりゅう じっし ・地域の障害者授産施設との交流の実施 おおさかふりつ しえんがっこう じどう・せいと きよじゅうち こうこうりゅう ・大阪府立支援学校の児童・生徒との居住地校交流</p>	げんじょういじ 現状維持:  これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきくき 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しょかん か 所管課	しきくめい 施策名	とくくみ 取り組み	とくくみ ないよう 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 回
(3) 合理的配 慮	こうほう 広報プロ モーション 課	じょうほうはっしん 情報発信	こうほう 広報ひらかたやホーム ページをはじめ、さまざま な媒体を通して、障害や しょうがいしゃ かん しょうがい 障害者に関する啓発活動 およ とくくみ しょうほう 及び取り組みなどの情報 ひろ はっしん を広く発信していきます。	こうほう 広報ひらかたを点字・音声で提供しました。また、音声読み上げが可能な多言語 たいおう アプリを導入し、広報ひらかたを配信しました。 また、市ホームページのリニューアルに伴い、やさしい日本語に対応するととも に、引き続き、音声ガイドを設けるなどユニバーサルデザインの充実を図りまし た。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいきかく 障害企画 課			かくしゆしんせいいかんしょう 各種申請勸奨のほか、講習会（スポーツ講習、手話講習、ガイドヘルパー養成研 しゅう かいさい しょうち こうほう 修など）の開催などについての周知を、広報ひらかたやホームページで行いまし た。 また、手話言語条例に関する特集記事を令和3年度「広報ひらかた」3月号に掲 載しました。令和4年度以降、さらなるろう者に対する理解促進と手話言語の周 うち ふきゅう けいはつ む とくくみ すいしん 知、普及、啓発に向けての取り組みを推進していきます。	かくじゅう とりくみ 拡充：取組 を発展・拡 充させる
	じんけんせいさく 人権政策 室	かいさい イベントの開催	しょうがい しょうがいしゃ りかい 障害や障害者への理解を うなが けいはつ 促すため、啓発イベントや キャンペーンを開催しま す。	しょうがいしゃ りかい およ にんしき ふか きかい 障害者への理解及び認識を深める機会として、 ○9月24日 人権文化セミナー 映画「靴ひも」 ○講座「生きること」 9月29日 常石勝義さんによる講座 「もう一度、大好きな馬と夢を掴みたい～高次脳機能障害を乗り越えて」 10月20日 玉井浩さんによる講座 「命の選別への警鐘～出生前遺伝学的検査と胎児の人権」 を開催しました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ ないよう 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(3) 合理的 配慮	しょうがいしかく 障害企画 か 課	イベントの開催	障害や障害者への理解を 促すため、啓発イベントや キャンペーンを開催しま す。	しょうがい ひと ちいき 障害のある人が地域でいきいきと活動できる社会実現を目指すイベント「ほっこり ひらかた2021」として12月4日に映画上映会・講演会のイベントを開催しました。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する

## 2 ちいき こうりゅう 地域との交流

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ ないよう 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 地域福 祉活 動	けんこうふくし 健康福祉 せいさくか 政策課	ちいき ふくしかつどう 地域福祉活動の ふきゅう 普及	しみん しゅたいでき にな ちいき 市民が主体的に担う地域 福祉活動を促進するた め、多様な学習の機会や 広報によって、地域福祉 の考え方の普及を図ると ともに、活動の紹介などを 行います。	「コロナ禍における地域の福祉活動について」をテーマに地域福祉セミナーを市 ホームページ上で公開しました。 ① 講演「コロナ禍における地域の福祉活動について」 講師：上野谷加代子 氏（同志社大学 名誉教授） ② 事例報告「コロナ禍で工夫した活動について」 事例報告者：津田南校区、藤阪校区で福祉に関する活動をされている方など また、市民が主体となって実施する「校区福祉活動」をはじめとした、各種地域 福祉活動の促進のため、社会福祉協議会との連携のもと、学習会・サロン活動等 の開催を支援しました。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	けんこうふくし 健康福祉 せいさくか 政策課	ちいき ふくしけいかく 「地域福祉計画」 の推進	ひらかたしちいき ふくしけいかく 「枚方市地域福祉計画」 の着実な実施により、社 会福祉協議会等関係団 体と連携し、市民による地 域福祉活動の支援を充実 させます。	れいわ ねんど から れいわ ねんど けいかくきかん ひらかたし ちいきふくしけいかく だい き 令和2年度から令和6年度までを計画期間とした「枚方市地域福祉計画（第4期）」 について、庁内委員会である枚方市地域福祉計画推進委員会において、取り組 みの進捗状況を確認するとともに、枚方市社会福祉審議会地域福祉専門分科会 において審議いただき、取り組みの推進を確認しました。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する



		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ ないよう 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
( 1 ) 地域福祉活動	しょうがいきかく 障害企画 か 課	ちい き ふく し けいかく 「地域福祉計画」 すいしん の 推進	「ひらかたしちい き ふく し けいかく」 「枚方市地域福祉計画」 ちやくじつ じっし の 着実な実施により、社 かい ふく し きょうぎ かい れん けい 会福祉協議会と連携し、 しみん ちい き ふく し か つ どう 市民による地域福祉活動 しえん じゅうじつ の 支援を充実させます。	じょうい けいかく ひらかたしちい き ふく し けいかく せいごう はか さくてい 上位計画である「枚方市地域福祉計画」と整合を図りつつ、策定された第3次枚方 たししょうがいしけいかく ひらかたし しょうがいふく し けいかく だいい き およ しょうがいじ けいかく だいい き 市障害者計画、枚方市障害福祉計画(第5期)及び障害児計画(第1期)を策定し ており、けいかくさいしゅうねんど しんちよくじょうきようとうのかくにん おこな 計画最終年度の、進捗状況等の確認を行いました。	げんじょういじ 現状維持: これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	ちやうじゅ か 長寿・介 いご ほけん か 護保険課			れいわ ねんど れいわ ねんど けいかくきかん こうれいしや ほけんふく し けいかく 令和3年度から令和5年度までを計画期間とした「ひらかた高齢者保健福祉計画 だいい き かんけいかく けいかく だいい き かく と く すいしん 21(第8期)」について、関係課において計画に掲げた各取り組みを推進しました。	げんじょういじ 現状維持: これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	けんこう 健康づく かいご り・介護 よぼう か 予防課			など こうれいしや けんこう かいごよぼう か つ どう こうく そつせん す いきいきサロン等で、高齢者の健康づくり・介護予防活動を校区で率先し、その推 いしん と く けんこう ようせい 進に取り組む健康づくりサポーターを養成しました。 れいわ ねんど しんがた かんせんしょうかくだいほうし かんてん ちゅうし 令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。	げんじょういじ 現状維持: これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	ぼし ほけん 母子保健 か 課			にんしんとどけで じ ほけんし じょさんし ぜんすうめんせつそうだん おこな にんしん しゅっさん こそだ 妊娠届出時には保健師や助産師が全数面接相談を行い、妊娠・出産・子育てに かん そうだんおよ じょうほうていきよう おこな にんさんぶ およ にゅうようじ ほごしや た 関する相談及び情報提供を行いました。また、妊産婦及び乳幼児の保護者を対 いしやう にゅうようじ けんこうそうだん ぼし でんわ らいしよ そうだん ほにゅうそうだん えいようそうだん こべつ はたつそうだん 象に、乳幼児健康相談・母子電話来所相談・母乳相談・栄養相談・個別発達相談 を じっし けいぞく しえん ひつよう ばあい ちくたんとう ほけんし かていほうもん 実施しました。継続支援を必要とする場合には、地区担当保健師が家庭訪問 とう おこな ひつよう おう かんけいきかん れんけい けいぞくてき しえん じっし 等を行い、必要に応じて関係機関と連携しながら継続的に支援を実施しました。	げんじょういじ 現状維持: これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
施策の基 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	と りく 組み	と りく 組み 内容	こんご ほう 今後の方 向
(1) 地域福祉活動	けんこうふくし 健康福祉 政策課	ボランティア活動 支援体制の整備	しゃかいふくしきょうぎかい ひらかたし 社会福祉協議会(枚方市 ボランティアセンター)等と 連携して、ボランティアが 円滑に活動できるよう必 要な環境整備を図りま す。	しゃかいふくしきょうぎかい ひらかたし 社会福祉協議会(枚方市ボランティアセンター)でのボランティア体験プログラム や、またコロナ禍でも参加できるボランティア活動の工夫を行い、ボランティアと支 援を必要としている人をつなぎました。災害時に活動する災害ボランティアを募 り、ボランティアセンターに登録する事業も行いました。	げんじょういじ 現状維持: これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する
	けんこうふくし 健康福祉 政策課	ボランティア体験 の推進	ひらかたししゃかいふくしきょうぎかい 枚方市社会福祉協議会 (枚方市ボランティアセン ター)等と連携して、誰も が参加できるボランティア 体験事業を推進します。	しゃかいふくしきょうぎかい ひらかたし 社会福祉協議会(枚方市ボランティアセンター)でのボランティア体験プログラム や、またコロナ禍でも参加できるボランティア活動の工夫を行い、ボランティアと支 援を必要としている人をつなぎました。災害時に活動する災害ボランティアを募 り、ボランティアセンターに登録する事業も行いました。	げんじょういじ 現状維持: これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する
(2) 地域交流の推進と居場所づくり	しょうがいしかく 障害企画 課	こうりゆうきかい じゅうじつ 交流機会の充実	サービス事業者等と連携 し、障害の有無に関わら ず共に楽しめるレクリエー ションや文化・スポーツ活 動等の交流機会の充実を 図ります。	しょうがいしゃとう はか 障害者等のを図るイベント「ジョイフルクリスマス会」を開催しました。「ふれあいス ポーツ交流会」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催できませんで した。	げんじょういじ 現状維持: これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいしかく 障害企画 課	みぢか いばしょ 身近な居場所づく り	しょうがいしゃ にちじょうてき きがる 障害者が日常的に、気軽 に立ち寄り時間を過ごせ る身近な交流拠点を、地 域活動支援センターとの 連携によって確保します。	れいわ ねん がつ あら ちいきかつどうしえん かた しょう かいせつ しなない しょう 令和3年4月に新たに地域活動支援センターⅢ型1か所が開設され、市内9か所 の地域活動支援センターでは、障害者が日常的に気軽に立ち寄り、時間を過ご せるよう、様々な創作的活動や生産活動のメニューを用意し、多くの方が利用し ました。	げんじょういじ 現状維持: これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する

2. 障害者(児)が安心できるまちづくり

1 公共施設の整備等

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
施策の基 所管課 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	と りく 組 み	と りく 組 み 内 容	こんご 今 後 の 方 向
(1) バリアフリーの整備	けんちく か 建築課	こうきようしせつ せいび 公共施設の整備・ かいぜん 改善	だれ りよう 誰もが利用しやすい公共 しせつ 施設をめざし、学校施設 しゅうしせつ せいび か ほか市有施設の整備・改 いしゅうさい たもくてき 修に際し、多目的トイレ、 とう せつち スロープ等を設置し、パ り アフリー化を進めます。	ひらかたし そうごうぶんか げいじゆつ 枚方市総合文化芸術センター本館新築事業について、エレベーター及びス ロープ等の設置をするとともに、バリアフリートイレにオストメイト対応機器を整備しま した。 また、しょうがっこうおよ ちゅうがっこう かいぞうこうじ しょうがっこう こう ちゅうがっこう こう り、廊下とトイレの段差解消を図るとともに、便器及び手洗いの一部に手摺を設 置し、バリアフリートイレを小学校19校、中学校9校に設置しました。 今後も利用しやすい公共施設をめざし、整備に努めてまいります。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	どうろ こうえん 道路公園 管理課	こうえん せいび かいぜん 公園の整備・改善	すべての利用者がより円 なかつ りよう 滑に利用できるよう公園 しせつ こうしん かいしゅう てつきよ 施設の更新、改修、撤去 とう おこな 等を行い、バリアフリー化 じゅんじす を順次進めます。	かいはいつこうい ともな ていきようこうえん けいかくだんかい 開発行為に伴う提供公園の計画段階において、バリアフリー化の指導を行い、令 和3年度は1公園の新設を行いました。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	ど ぼくせいさく 土木政策 か 課	えきおよ しゅうへん 駅及び周辺のバ り アフリー化	しょうがいしゃ あんぜん かいてき いど 障害者が安全で快適に移 う ひらかたしこう 動できるよう、「枚方市交 つう きほんこうそう 通バリアフリー基本構想」 とう もと ほんご ほど 等に基づき、今後も歩道 だんき かいしゅう てんじ 段差の解消、点字ブロッ く ふうせつ ほど クの敷設など歩道のバ り アフリー化を図るとと に、利便性や安全性の向 じょうやくしん ほか かんけいき 上促進を図るため関係機 かんどう れんらくちようせい おこな 関等との連絡調整を行 います。	とうじしゃ およ こうつうじぎょうしゃとう こうせい ひらかたし すいしんきようぎかい かいさい 当事者及び交通事業者等で構成する「枚方市バリアフリー推進協議会」を開催 し、令和3年4月施行のバリアフリー法の改正内容や、令和2年9月に施行の「大阪 府福祉のまちづくり条例」の改正内容について情報共有を図るとともに、バリアフ リー基本構想に基づく道路特定事業計画をはじめ、各事業者からのハード・ソフト 両面からの取り組み内容の報告を行い、当事者との意見交換を行いました。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく き 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ ないよう 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) バリアフリーの整備	どうろかせん 道路河川 せいび か 整備課	えきおよ しゅうへん 駅及び周辺のバリ アフリー化	しょうがいしゃ あんぜん かいてき いど 障害者が安全で快適に移 動できるよう、「枚方市交 通バリアフリー基本構想」 とう もと こんご ほうどう 等に基づき、今後も歩道 だんき かいしょう てんじ 段差の解消、点字ブロッ クの敷設など歩道のバリ アフリー化を図るととも に、利便性や安全性の向 じょうくしん はか かんけいき 上促進を図るため関係機 かんどう れんらくちようせい おこな 関等との連絡調整を行 います。	きんや だい ごうせん みやのさかえき しゅうへんちく 禁野第3号線(宮之阪駅周辺地区)において、令和3年度から令和4年度完成に向 けて障害者ならびに高齢者が安全かつ円滑に通行することを目的として歩道の いちぶくかん かくふく だんきかいしやう くわ しょうがいしゃ ゆうどうよう 一部区間の拡幅や段差解消に加え、障害者誘導用ブロックの設置や横断防止柵 の設置等、現道のバリアフリー化整備工事を行いました。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	どうろこうえん 道路公園 かんりか 管理課	ほうどうかんきやう かいぜん 歩道環境の改善	しょうがいしゃ つうこう さまた 障害者の通行の妨げとな る放置自転車や違法駐 車、不法占用物を撤去す るとともに、市民啓発を進 めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほうちじてんしやなど てつきよ および しみんけいはつ おこな 放置自転車等の撤去及び市民啓発を行いました。</li> <li>・ふほうせんようぶつ てつきよおよび しみんけいはつ おこな 不法占用物の撤去及び市民啓発を行いました。</li> </ul>	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	こうつうたいさく 交通対策 課	こうつうあんぜんしせつ 交通安全施設の せつち 設置	どうろこうつうかんきやう かいぜん はか 道路交通環境の改善を図 るため、ガードレール、 カーブミラーなど交通安全 施設の整備を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひらかたしえきしゅうへん ちゅうしやぼうしじゅうてんちいき じどうしや ちょう 枚方市駅周辺を「めいわく駐車防止重点地域」とし、自動車および50cc超のバイ クに対し、交通指導員によるめいわく駐車防止の啓発を行っています。</li> <li>・ちらん貼付車両台数2,883台</li> <li>・じやうれい もとい てつどうえきしゅうへん ほうち じてんしや いか しど 条例に基づき、鉄道駅周辺に放置している自転車、ミニバイク(50cc以下)の指 導・警告・移送を行いました。</li> <li>・けいこくしやりようだいすう だい いそうだいすう だい 警告車両台数8,418台 移送台数681台</li> </ul>	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	こうつうたいさく 交通対策 課	こうつうあんぜんしせつ 交通安全施設の せつち 設置	どうろこうつうかんきやう かいぜん はか 道路交通環境の改善を図 るため、ガードレール、 カーブミラーなど交通安全 施設の整備を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こうつうあんぜんしせつせいび じつし 交通安全施設整備の実施</li> <li>・あんぜんさく もとい 安全柵 1,399m ・カーブミラー 35基</li> <li>・くかくせん かん 区画線 20,724m(グリーンライン852mを含む)</li> <li>・ぽすトコーン 34本 ・くるまどめ 29か所</li> <li>・そっこうあんきよか ほうどうかくふく 側溝暗渠化 37.6m ・歩道拡幅 128m</li> </ul>	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ ないよう 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) バリアフリーの整備	しょうがいしえん 障害支援 か 課	ふくししやう 福祉移送サービス	しょうがいしや しやかいさんか き 障害者の社会参加の機 かい かくじゆう 会を拡充するため、サー ていきやうじぎやうしや かくほ ビスの提供事業者の確保 きやうどうはいしや じゆ と共同配車センターの充 うじつ つと 実に努めます。	れいわ ねんど ふくししやう サービスに じぎやうしや とうろく おこな 令和3年度は、福祉移送サービスに12事業者が登録を行い、サービス提供を行 いしました。共同配車センターについては、3事業者が登録を行いサービスを提供 きやうどうはいしや じぎやうしや とうろく おこな することで、障害者の社会参加の機会の拡充に努めました。	げんじやういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいきかく 障害企画 か 課	グループホームの かくじゆう かいぜん 拡充・改善	しんきかいせつ ていいんぞうか 新規開設や、定員増加を ともな せいび おこな じぎやうしや に伴う整備を行う事業者へ しえん おこな 支援を行い、グループ せいび そくしん はか ホームの整備促進を図り ます。	しな い ねんど しんき かいせつ また ていいん ぞうか ぞうせつ じぎ ・市内にグループホームを新規に開設、又は定員を増加するための増設をする事 業を行う際に、枚方市グループホーム新規開設等整備補助金を交付することに より、グループホームの整備を図るとともに、障害者の地域移行促進を図りまし た。 こうふじっせき じぎやうしよ しんきかいせつ 交付実績：8事業所（新規開設）	げんじやういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいしえん 障害支援 か 課	じゆうたくかいぞうじよせい 住宅改造助成	じゆうどしょうがいしや たい じゆうたく 重度障害者に対する住宅 かいぞう ひ いち ぶじよせい 改造費の一部助成につい ては、さらなる周知を図 り、利用の促進に努めま す。また、必要な対象者 がより活用しやすい要件 かつよう ようけん とするなど、制度拡充をめ ざします。	れいわ ねんど りよう じっせき けん ほんせいど かつよう しょうがいしや 令和3年度の利用実績は19件でした。本制度を活用したことにより、障害者およ び介護者の日常生活での安全性・利便性の向上を図ることができました。	げんじやういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいきかく 障害企画 か 課	す かん そう 住まいに関する相談 だん しょうほうていきやう と情報提供	じゆうたく ふく せいかつぜんばん 住宅を含めた生活全般に かん そうだん しな い しょう 関する相談を、市内の相 だんしえん じぎやうしやとう じっし 談支援事業者等で実施し じようほうしゅうしゆ ていくとともに、情報収集・ うていきやうつと 提供に努めます。	れいわ ねん がつ あら かいせつ そうだん しえん ふく しな い かしょ そうだんしえ 令和3年4月に新たに開設された相談支援センターを含む市内7か所の相談支 援センター及び、市内の相談支援事業者等で、住宅を含めた生活全般の相談を じゆうたく ふく せいかつぜんばん そうだん 実施しました。また、福祉事務所 障害福祉担当においても、情報収集・提供に努 めました。	げんじやういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する

ほ い く りょういく きょういく じゅうじつ  
2 保育・療育・教育の充実

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
し 策の基 ほんもくひょう 本目標	しょかん か 所管課	し 策の基 ほんもくひょう 本目標	と 取り組み	と 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 保 育・療 育・教 育の充 実	ぼ し ほけん 母子保健 か 課	にゅうようじけんこうしんさ 乳幼児健康診査 すいしん の推進	にゅうようじけんこうしんさ しんせいじ 乳幼児健康診査・新生児 ちようかくけんさ しやうがい 聴覚検査において、障害 の早期発見・早期対応に つと 努めます。また、健診時 つと やその後のフォローを通 つう じて保護者の育児支援に つと 努めます。	にゅうようじ たい かくじき けんこうしんさ じっし しつぺい しょうがい そうきはつけん そうきた 乳幼児に対して、各時期に健康診査を実施し、疾病や障害の早期発見・早期対 いおう はか ほごしや たい こそだ かん そうだん ほけんしどう じっし 応を図り、その保護者に対して子育てに関する相談・保健指導を実施しました。 れいわ ねんど しんがた かんせんしやいおう ちゆうし さい げつじ し か け 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対応のため中止していた、2歳6か月児歯科健 んこうしんさ さいかい 康診査を再開しました。 ほ けん しゅうだんけんこうしんさ げつじ けんこうしんさ さい げつじ けんこうしんさ 保健センターでの集団健康診査(4か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、2 さい げつじ し かけんこうしんさ さい げつじけんこうしんさ ふないいりようきかん こべつけんこう 歳6か月児歯科健康診査、3歳6か月児健康診査)、府内医療機関での個別健康 しんさ にゅうじいつばんけんこうしんさ にゅうじこうきけんこうしんさ じっし けいかかんさつ ひつよう ば 診査(乳児一般健康診査、乳児後期健康診査)を実施し、経過観察が必要な場 あい しょうにしんけいかい じどうせいしんかいとう にじけんしんおよ しんりそうだんいん 合は、小児神経科医や児童精神科医等による二次健診及び心理相談員による こべつはつたつそうだん じっし べいせい ねん がつ さい げつじ けんこうしんさ さい 個別発達相談を実施しました。平成28年4月より、1歳6か月児健康診査、2歳6 げつじ し かけんこうしんさ さい じ けんこうしんさ おおさかふさくせい はつた か月児歯科健康診査、3歳6か月児健康診査については、大阪府作成の「発達 つしよう そうきはつけん もんしんこうもくてびきしよ かいてい もんしんひょう しょう 障がいの早期発見のための問診項目手引書」にそって改訂した問診票を使用 ひつよう しえん ちようかくしょうがい そうきはつけん そうまりょういく もくてき し、必要な支援につなげています。また、聴覚障害の早期発見、早期療育を目的 しんせいじちようかくけんさ ひようじよせい おこな れいわ ねんど さい げつじ に、新生児聴覚検査の費用助成を行っています。令和3年度から、3歳6か月児 けんこうしんさ じゃくし しりよく いじよう そうき はつけん がんかけんさき き 健康診査に、弱視などの視力の異常を早期に発見するために、眼科検査機器 (スポットビジョンスクリーナー)を導入しました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する



		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しやく 基 施策の ほんもく 本目標	しよかん 所 管課	しやくめい 施策名	と りく 組み	と りく ないよう 組み内容	こんご ほう 今後の方 向
(1) 保 育・療 育・教 育の充 実	ぼ し ほけん 母子保健 課	そうきたいおう じゆうじつ 早期対応の充実	けんこうしんさとう けつか はつたつ 健康診査等の結果、発達 の経過観察が必要な子どもと保護者に対し、発達 相談等において助言・指 導を行い、必要に応じて 療育や医療との連携を図 ります。また、乳幼児健康 診査事後指導事業(親子 教室)においては、小集 団での親子の保育を通じ て、保護者の育児支援 等、早期の対応に努めま す。NICU(新生児集中治 療室)から在宅生活へ移 行する身体障害児及び長 期療養児については、退 院前から医療機関と連携 し、退院後も円滑に医療・ 療育が受けられるよう支 援します。	けんこうしんさ けつか はつたつ けいかかんさつ ひつよう こ ほごしゃ たい しょうにんけいかい 健康診査の結果、発達の経過観察が必要な子どもと保護者に対し、小児神経科 医や児童精神科医による二次健診及び心理相談員による個別発達相談、保健 師による家庭訪問を実施しました。 継続的な個別支援が必要と思われる子どもと保護者に対しては、乳幼児健康診 査事後指導事業(親子教室事業)を実施しました。通室は週に1回行うものとし、 子どもの年齢や発達の特徴からグループ分けを行っています。保育内容は各グ ループの特徴に応じて設定し、保護者の育児支援に努めました。 療育や医療が必要な場合には、医療機関やひらかた子ども発達支援センター等 へ紹介し、連携を図りました。 NICU(新生児集中治療室)から退院後、継続して医療的ケアが必要な子どもにつ いては、退院前から医療機関や訪問看護ステーション等と連携し、円滑に在宅生 活へ移行できるよう支援しました。	げんじよういじ 現状維持: これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しやく 基 施策の ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	と 取り組み	と 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 保 育・療 育・教 育の充 実	しょうがいしえん 障害支援 課	りょういく じゅうじつ 療育の充実	こべつりょういく ほごしゃしどうとう 個別療育、保護者指導 等、きめ細かな療育の提 供を対象児童に行いま す。市立ひらかた子ども 発達支援センターにおい ては、日々の生活を基盤 とした個別・集団的な療育 を実施するほか、医師の 指示の下、理学療法・作 業療法・言語聴覚療法を 用いて、個々の状況に応 じたリハビリテーションを 実施し療育の充実に努め ます。	けんしん しんがくとうしょうがいじ じょうきょう あ かんけいきかん 検診、進学等障害児の状況に合わせ、関係機関にてケース情報の引継ぎ等の連 携を行います。また「枚方市障害児等関係機関連絡会議」を概ね2カ月に1回参 加(実務者会議、代表者会議)し、参加関係機関と情報の共有を行います。教育 分野の障害児支援についてや、留守宅の巡回相談に関する知識の向上を図りま す。進路担当者と障害支援課、障害者相談支援センター等で進路相談会を開催 し、障害福祉制度の説明を行います。	げんじょういじ 現状維持： これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する
	しりつ 市立ひら かた子ど も発達支 援セン ター			しりつ こ はつたつしえん つうしよじ たい しょうがいじ そうだん 市立ひらかた子ども発達支援センターにおいて、通所児に対しては、障害児相談 支援でたてた計画を元に日々の生活を基盤とした個別・集団的な保育・療育を実 施するほか、医師の指示の下、理学療法、作業療法、言語聴覚療法を用いて、 個々の状況に応じたリハビリテーションを実施しました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する



		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく き 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	と 取り組み	と 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 保 育・療 育・教 育の充 実	いちりつ 市立ひら かた子ど も発達支 援セン ター	ちいきりょういく すいしん 地域療育の推進と ちいき れんけい 地域との連携	いちりつ こ ぼったつ 市立ひらかた子ども発達 支援センターにおいて は、発達上支援を必要と する子どもとその保護者 を対象に、「地域支援事 業」を実施し、遊びや集団 の場を通じて経験を広 げ、子どもの成長と保護 者の子どもの理解の促進に つとめます。また、子どもの 発達や障害についての理 解を深め、成長や発達に 見通しをもってもらふことを 目的に、子育て講座を实 施します。母子保健課に おいて、在宅の障害児に 対して医師等専門職によ る相談・助言等を行うと もに、地域療育と連携を はか 図ります。	しりつ こ ぼったつしえん 市立ひらかた子ども発達支援センターにおいて、通所支援を利用していないが支 援を必要とする親子に対し、遊びや集団の場を通じて経験を広げ、成長を促すこ とができるよう「地域子育て支援事業」を実施しました。また、子どもの発達や障 害についての理解を深め、成長や発達に見通しをもってもらふことを目的に、子育 て講座を開催しました。また、センター職員と公立保育所職員で、発達障害に対 する研修やケースカンファレンスを行い、地域療育の推進に努めました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とくりくみ けいぞく 取組を継続 する
	ぼ し ぼけん 母子保健 課			しんたいしょうがいじ ちょうきりょうようじ たい い し か い し りがくりょうほうし さぎょうりょうほうし 身体障害児や長期療養児に対し、医師、歯科医師、理学療法士、作業療法士、 げんごちようかくし しんりそうだんいん ぼ けん し らいしよそうだん ほうもんしどう じっし 言語聴覚士、心理相談員、保健師による来所相談や訪問指導を実施しました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とくりくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	取り組み内容	今後の方 向
(1) 保 育・療 育・教 育の充 実	母子保健 課	関係機関との連携	母子保健課、療育機関、 保育所(園)、幼稚園等か ら小学校、小学校から中 学・高等学校、中学・高等 学校から進学先・就職 先、就職先から福祉施設 へと発達障害のある児童 を含め障害児童のニーズ に応じた進路の選択が行 えるよう、庁内及び関係 機関との連携を図ります。 また、枚方市障害児等関 係機関連絡会議におい て、障害のある児童及び その周辺の児童(健診等 でフォロー児童等)並びに その家族が抱える様々な 問題に対して、情報交 換、意見交換等を行い、 関係機関の連携を図りま す。支援度合いが高い障 害児や高次脳機能障害 児についても必要な情報 共有を図っていきます。	療育機関、保育所(園)、幼稚園、小学校等への就園・就学にあたり、ニーズに応 じた進路選択ができるよう、関係機関と連携を図りながら保護者支援に努めまし た。また、枚方市障害児等関係機関連絡会議においては、事務局メンバーとして 会議の運営に携わりながら、関係機関の連携に努めました。	現状維持: これまでの 取組を継続 する
	障害支援 課			検診、進学等障害児の状況に合わせ、関係機関にてケース情報の引継ぎ等の連 携を行います。また、進路担当者と障害支援課、障害者相談支援センター等で進 路相談会を開催し、障害福祉制度の説明を行います。	現状維持: これまでの 取組を継続 する
	公立保育 幼稚園課			小学校就学前に、就学先の小学校教員が園所に訪問し、就学児の様子の把握 や職員からの聞き取りを行ったり、園所からも幼児の様子を学校側に伝えたりな ど連携を図るとともに、就学する際に、保育所からは要録を、幼稚園からは抄本 を学校に送付している。個別の支援計画を立てている幼児や、発達相談を利用し ている幼児については、保護者を通じても小学校へ情報提供を行うなどの取り組 みを行っている。	現状維持: これまでの 取組を継続 する
	市立ひら かた子ども 発達支 援セン ター				「枚方市障害児等関係機関連絡会議」において、各機関の現状や新たな取り組 み等について情報共有し、連携につなげました。新型コロナウイルス感染拡大の 影響もあり、機関向け研修1回、実務者会議5回(書面での情報共有2回、対面 の会議2回、オンラインでの会議1回)、代表者会議1回を実施しました。

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しやく 基 施策の ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	とく ないよう 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 保 育・ 療 育・ 教 育の 充 実	じどう せいと 児童生徒 しえん か 支援課	かんけい かん れんけい 関係機関との連携	ぼ し けけん か りよういき かん 母子保健課、療育機関、 ほ いくじょ えん ようちえんとう 保育所(園)、幼稚園等か しょうがっこう しょうがっこう ちゅう 小学校、小学校から中 うがく こうとうがっこう ちゅうがく こうとう 学・高等学校、中学・高等 がっこう 学校から進学先・就職 くさき しゅうしよくさき ふくしし せつ 先、就職先から福祉施設 はったつしやうがい じどう へと発達障害のある児童 ふく しょうがいじどう を含め障害児童のニーズ おう しんろ せんたく おこな に応じた進路の選択が行	しゅうがくまえ しょうがっこう、ちゅうがっこう、こうとうがっこう れんけい 就学前、小学校、中学校、高等学校と連携をしていき、個々のニーズに沿った支 ん こべつ きよういくしえんけいかく さくせい しえん つと 援ができるように個別の教育支援計画を作成し、支援に努めました。	げんじよういじ 現状維持：  これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	ほうかご こ 放課後子 か ども課		えんよう、庁内及び関係 きかん れんけい はか 機関との連携を図ります。 また、枚方市障害児等関 ひらかたしやうがいじどうかんけいき 係機関連絡会議におい かん れん らく か い ぎ て、障害のある児童及び しょうがい じどうおよ その周辺の児童(健診等 しゅうへん じどう けんしんとう でフォロー児童等)並びに じどうとう なら その家族が抱える様々な か ぞく かか きまざま 問題に対して、情報交 もんだい たい じようほうこう 換、意見交換等を行い、 かん いけんこうかんとう おこな 関係機関の連携を図りま かんけい かん れんけい はか す。支援度合いが高い障 しえんどあい たか しよ 害児や高次脳機能障害 うがいに こうじのうきのうしやうがいじ 児についても必要な情報 ひつよう じようほ うきやうゆう はか	しょうがい じどう はったつめん せいかつめん き 障害のある児童や発達面・生活面などで気がかりのある児童に対して、スムーズ う い てきせつ ほいく じっし にゅうしえん ほうかご こ か ほごしゃ な受け入れや適切な保育を実施するために、入室前に放課後子ども課が保護者 たい でんわ じどう はったつじようきやう き と ないよう かない に対して、電話で児童の発達状況を聞き取っています。聞き取った内容は、課内 しよくいん じどうかいしつ しよくいん 職員、児童会室職員、ブロック(地域)担当と共有しています。また、保護者の了 うかい もと しゅうしんほいくしよ えん ようちえん およ がっこうとう じようほうこうかん おこな れんけい おこな 解の下、出身保育所(園)・幼稚園、及び学校等と情報交換を行い、連携を行いま れいわ ねんど でんわ はったつじようきやう き と にんずう にん した。(令和3年度の電話での発達状況の聞き取り人数は107人です。)	げんじよういじ 現状維持：  これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく き 施策の基 ほん 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	とくく 取り組み	とくく ないよう 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 保 育・療 育・教 育の充 実	こうりつ ほい く 公立保育 ようちえん か 幼稚園課	ほい く しゅうがく まえきょうい く 保育と就学前教育 の充実	ほい く しよ えん ようちえんとう 保育所(園)・幼稚園等に おいて、「ともに生き、共 に育つ」保育を実施すると ともに、職員の研修や必 要な人材の配置等によ り、障害のある子どもの支 援体制の強化を図りま す。	こうしりつ ほい く(えん) 公私立保育所(園)において、集団保育を必要とする障害児に、「共に生き、共に 育つ」保育を推進しています。保育所入所後のフォローとして、巡回相談・保育相 談を実施しました。また、障害児保育に関わる職員の保育の質の向上を目指し、 しょうがいじほい くけんしゅうかい こうしりつ しょ しょうがいじほい いくたんとうほい いくしけんしゅう こうしりつ 障害児保育研修会(公私立45ヶ所)、障害児保育担当保育士研修(公私立38ヶ 所)をオンラインにより実施しました。 また、公立幼稚園においては、「ともに学び、ともに育つ」教育の充実を図るため、 しょうがい じょうきょう おう てきせつ きょういくかてい けいかくてき けいとうてき へんせい じっし 障害の状況に応じた適切な教育課程を計画的・系統的に編成し実施するととも に、支援を必要とする幼児が在籍する公立幼稚園(6園)に支援教育担当31名及 び生活支援員21名を配置し、支援体制の充実を図りました。 また、支援教育に関する専門性を高め、障害のある子どもの指導・支援等、様々 な課題に対応できる人材の育成に向けて、園内研修や支援会議等を定期的に実 施しました。	げんじょういじ 現状維持: これまでの とりぐみ けいぞく 取組を継続 する
	こ ぞう 子ども相 談課			こ ばつたつしえん 子ども発達センターから依頼を受けて、発達状況を踏まえた指導や障害に 対する助言を保育士に行うために、私立保育所(園)への訪問による保育相談を 実施しました。実施頻度は、年2回、実施園11園、訪問延べ日数44日、実施延べ 人数250人。	げんじょういじ 現状維持: これまでの とりぐみ けいぞく 取組を継続 する
	きょうい(けんしんしゅう 教育研修 か 課			かくえん はいち とくべつしえんかはいいん ようちえんきょうゆめんきよ ほいくしかくあり た 各園に配置された特別支援加配員(幼稚園教諭免許もしくは保育士資格有の短 時間雇用者)、生活支援員(子育てや介護経験がある短時間雇用者)を含めた教 職員を対象とし学校園支援プログラム幼稚園研究支援研修オープン講座(全2回) にて支援教育についての研修を実施しました。1回目は支援の必要な子どもに対 しての関わり方を各園で動画視聴・研究協議を行い、2回目は集合研修で全園の 教職員が支援の必要な子どもとともに安心できる集団づくりについて講義・演習 を行い、支援児が幼稚園終了までにどのような力をつけてほしいかなどを共有し ました。また、支援教育コーディネーターを対象とした研修や支援教育研修につい ては、市教委主催の教職員研修にて小中学校教員と意見交流することで就学後 の支援教育について見通しをもつことができました。	げんじょういじ 現状維持: これまでの とりぐみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しょかん か 所管課	しきくめい 施策名	と 取り組み	と 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 保 育・療 育・教 育の充 実	しょうがいき かく 障害企画 か 課	ほうか ごとう 放課後等デイサー ビスの充実 じゅうじつ	しょう ちゅう こうとうがっこう しゅうがく 小・中・高等学校に就学 しょうがいじ じゅうぎょうしゅうりょうご する障害児の授業終了後 がっこう きゅうぎょうひ せいいかつ や学校の休業日に、生活 のうりよく こうじょう ひつよう 能力の向上のために必要 な訓練や支援を行い、療 育の充実を図ります。 くんれん しえん おこな りよ ういく じゅうじつ ほか	れいわ ねんど じぎょうしょ さんにゆう ごうけい じぎょうしょ しきゅうけつていにんずう にん の 令和3年度は、10事業所が参入(合計66事業所)し、支給決定人数は1,020人、延 べ利用日数は135,975日でした。 りよう にっすう ひ	げんじょういじ 現状維持:  これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいき かく 障害企画 か 課	にっちゅういちじしえんじぎょう 日中一時支援事 業の充実 じゅうじつ	りよう うんよう つと 利用しやすい運用に努 め、サービスの充実を図 ります。 じゅうじつ ほか	れいわ ねんど じぎょうしょ さんにゆう じぎょうしょ てったい ごうけい じぎょうしょ しきゅうけつてい 令和3年度は、2事業所が参入し、1事業所が撤退(合計20事業所)し、支給決定 人数は603人、延べ利用日数は16,230日でした。 にんずう にん の りよう にっすう ちち	げんじょういじ 現状維持:  これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	ほうかご こ 放課後子 ども課 か	るすかていじどうかい 留守家庭児童会 室運営事業 しつうんえいじぎょう	へいせい ねんど だい がくねん 平成30年度より、第1学年 から6学年まで全学年の じどう う い おこな 児童の受け入れを行って います。障害のある児童 については、職員の研修 しよくいん けんしゅう や職員の配置、また学校 との連携等により、保育 かんきょう しえん じゅうじつ ほか 環境や支援の充実を図り ます。	るすかていじどうかいしつ しょうがい じどう とう う い しつぜんたい うんえい 留守家庭児童会室では、障害のある児童等の受け入れにあたり、室全体の運営 じょうきょう ふ てきせつ じんいん はいち ほうかご あそ およ せいいかつ ば て 状況を踏まえて適切な人員を配置することで、放課後の遊び及び生活の場の提 供に取り組みました。 いきょう と く	げんじょういじ 現状維持:  これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	と 取り組み	と 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 保 育・療 育・教 育の充 実	じどうせいと 児童生徒 しえん か 支援課	しょうがい じどう 障害のある児童へ きょういく じゅうじつ の教育の充実	しょう ちゅうがっこう こべ 小・中学校において、個 つ きょういくしえんけいかくとう か 別の教育支援計画等を活 つよう しょうがい じどうとう 用し、障害のある児童等 のニーズに応じた適切な きょういく おこな つと 教育を行えるように努め ます。また、きょうしきしゅう 教職員研修 の充実や、支援学校など のスタッフ及び専門家に じゅんかいそうだん かつよう よる巡回相談を活用しな がら、きょういく じゅうじつ はか 教育の充実を図っ ていきます。	しょうがい じどう・せいと たい しえん じゅうじつ ○障害のある児童・生徒に対する支援の充実について しえんきょういく しえんじゅうじつじぎょう かいけいねんど にんようしよくいんこうし はいち ・支援教育コーディネーター支援充実事業(会計年度任用職員講師の配置) したふじゅうじ かいじょいん がっこうかんごし はいち ・肢体不自由児介助員・学校看護師の配置 しょうがいじ きのうかいふく くんれんじぎょう りがくりようほうし げんごちようかくし さぎょうりようほうし はけん ・障害児機能回復訓練事業(理学療法士、言語聴覚士、作業療法士の派遣) セルプわらしべ乗馬体験事業 しきょうい しゅざい きょうしよくいんけんしゅう じゅうじつ ○市教委主催の教職員研修の充実について しえんきょういくけんしゅう かい ・支援教育研修 3回 しえんきょういく けんしゅう かい ・支援教育コーディネーター研修 3回 つうきゅうしどう じっせんけんしゅう かい ・通級指導実践研修 1回 せんもんかとう がっこうしえん じゅうじつ ○専門家等による学校支援の充実について しえんきょういく がっこうえん しえんじぎょう ようちえん しょう・ちゅうがっこう せんもんかとう はけん ・支援教育学校園支援事業(幼稚園、小・中学校への専門家等の派遣) おおさかふりつしえんがっこう じゅんかいそうだん ・大阪府立支援学校コーディネーターによる巡回相談 つうきゅうしどうきょうしつたんどうしゃ じゅんかいそうだん ・リーディングチーム(通級指導教室担当者)による巡回相談	かくじゅう とりぐみ 拡充:取組 を発展・拡 充させる

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	と 取り組み	と 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 保 育・療 育・教 育の充 実	きょういけんしゅう 教育研修 課	しょうがい じどうとう 障害のある児童等 への教育の充実	しょう ちゅうがっこう こべ 小・中学校において、個 別の教育支援計画等を活 用し、障害のある児童等 のニーズに応じた適切な 教育を行えるように努め ます。また、教職員研修 の充実や、支援学校など のスタッフ及び専門家に よる巡回相談を活用しな がら、教育の充実を図っ ていきます。	しきょういしゅさい きょうしよくいんけんしゅう じゅうじつ 〇市教委主催の教職員研修の充実について ・支援教育コーディネーター研修3回「特別ではない支援教育」、「ほんまの障 害って、どこにあるん?」、「支援教育コーディネーターの役割を振り返る」 ・支援教育研修3回「個別の指導計画の作成と活用」「支援学級における学級 経営と授業」、「支援を必要とする子への ICT を活用した授業」 ・中学校初任者研修(8)小学校初任者研修(9)「支援教育の理解と支援」 ・市費負担教員研修(6)「インクルーシブ教育の視点から学ぶ支援」 ・2年目小中学校教諭研修(4)「支援教育の最前線へ」～支援学校の実践に学 ぶ～ ・5年目小中学校教諭研修(2)「通常の学級におけるインクルーシブ教育」 ・小中学校10年経験者研修(4)「すべての子どもに「わかる・できる」を～インク ルーシブ教育の理念と実践～」	げんじょういじ 現状維持: これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する



		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ ないよう 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 保 育・療 育・教 育の充 実	しょうがいしかく 障害企画 課	つうがくしえん じゅうじつ 通学支援の充実	ひとりでのつうがく こんなん じど 通学が困難な児 童を対象として、保護者 のしょうろうやびょうきりょうようとう 就労や病気療養等の やむを得ない理由がある 場合につうがく 通学ガイドヘル パーを派遣し、通学の支 援を行います。	ひとりでのつうがく こんなん で、しょうろう びょうきりょうようとうやむを得ない理由により、保護者 が一定期間通学につき添うことができない障害のある児童・生徒を対象に、通学 ガイドヘルパーを派遣する障害児通学支援事業を実施しました。令和3年度の支 給決定者は59名でした。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	じどうせいと 児童生徒 支援課	そうだん じっし ほごしや 相談の実施と保護 者との連携	しょうがい こ ほごしや 障害のある子どもの保護 者への相談を行うととも に、ほごしや がっこう れんけい 保護者と学校の連携 きょうか ほか 強化を図ります。	でんわ めんだん きょういくそうだん じっし ほごしや そうだん うけ 電話や面談による教育相談を実施しました。また、保護者の相談を受るとともに、 ひつよう おう がっこう かんけいきかん れんけい ほか 必要に応じて、学校や関係機関との連携を図りました。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	じどうせいと 児童生徒 支援課	しんろしどう じゅうじつ 進路指導の充実	かんけいき かん れんけい きょうか 関係機関との連携を強化 しながら、卒業後の進路 せんたく はば ひろ 選択の幅が広がるよう、 しんろしどう じゅうじつ ほか 進路指導の充実を図りま す。	がっ がっ ようちえん ほいくしょう ほうもん しょうがくしどう じっし ・6月から10月にかけて、幼稚園、保育所等を訪問し、就学指導を実施しました。 しょうがい ようじ じどう せいと しんろ じゅうぶん しょうほう ていきょう しんろ しえ ・障害のある幼児、児童、生徒の進路について、十分な情報を提供し、進路の支 ん つと しょうちゅうがっこうえん れんけい ちゅうがっこうく ぜんたいしどうけいかくをさくせい ゆめ 援に努めました。小中学校区で連携し、中学校区で全体指導計画を作成し、夢や こころざしも しゅたいてき みずか い かた かんが 志を持ち主体的に自らの生き方を考えさせることができました。 しょうがい ようじ・じどう・せいと りかい てきせつ しどう すいしん しえんがっこう か ・障害のある幼児・児童・生徒の理解や適切な指導の推進のため、支援学校や関 んけいきかん れんけい ほか 係機関との連携を図りました。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する



3 さいがいたいさく 災害対策					
		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	とく 取り組み	とく 取り組み内容	ごんご 今後の方 こう 向
(1) 自然災害	ききかんり 危機管理 たいさくすいしん 対策推進 か 課	ひなんこうどうようしえんしや 避難行動要支援 は あく 者の把握	ちいき ぼうさいけいかく もと 地域防災計画に基づき、 さいがいたい さいがいたい さいがいたい 災害時に必要な支援を し 施するため、避難行動要 しえん しや めいぼ さくせい 支援者名簿を作成してい ます。この名簿に登録さ れた方うち へいじようじ の内、平常時から じようほうていきよう どうい の情報提供に同意された かた 方について、消防、警察、 みんせいいいん 民生委員、自主防災組織 めいぼじようほうていきようしていま 等へ名簿情報を提供して す。また、登録を希望 どのしんせいにもとづき、きんきゅうれんらくさ された障害者等の申請に きとうのじようほうをどうろくするさいがいたいじよう 基づき、緊急連絡先等の えんごしやひなんしえんじきようをじっししてい 情報を登録する災害時要 ます 援護者避難支援事業を実 施しています。	さいがいたいひなんこうどうようしえんしやめいぼ さくせい はあく 災害時避難行動要支援者名簿を作成することにより把握しています。 めいぼとうろくたいししや かいご ぼけん ぼうかいご にんていしや しんたいしやうがいしやてちよう 名簿登録対象者は、①介護保険の要介護3～5の認定者、②身体障害者手帳 きゅう こうふ しんたいしやうがいしや じ りよういくてちよう こうふ ちてきしよ 1・2級を交付されている身体障害者(児)、③療育手帳Aを交付されている知的 うがいしや じ せいしんしやうがいしやほけんふくしてちよう きゅう こうふ せいしんしやうがいしや 障害者(児)、④精神障害者保健福祉手帳1級を交付されている精神障害者 じ しょうがいしやそうごうしえんほう もと りよう なんびようかんじや (児)、⑤障害者総合支援法に基づくサービスを利用している難病患者。 へいじ めいぼとうさいしや めいぼじようほう ひなんしえんとうかんけいしや ていきよう どう 平時には名簿搭載者のうち、名簿情報を避難支援等関係者へ提供することに同 い たいしやうしや めいぼじようほう ちい き みんせいいいんどう ていきよう ちい き み 意している対象者の名簿情報を、地域の民生委員等へ提供しており、地域の民 んせいいいんどう へいじようじ めいぼじようほう かつよう へいじようじ みまも さいがいたい じ じようほうでんたつ 生委員等が平常時に名簿情報を活用し、平常時の見守り、災害時の情報伝達、 あんびかくにん ひなんしえんとう やくだ 安否確認、避難支援等に役立てています。 ひなんしえんとう ひつよう はんい めいぼじようほう ひなんしえんとうかんけいしや ていきよう 避難支援等に必要な範囲において、名簿情報を避難支援等関係者へ提供するこ どうい たいしやうしや ひなんしえんとうかんけいしや ていきよう さいがいたい あ とに同意していない対象者についても避難支援等関係者に提供し、災害時の安 んびかくにん ひなんしえんとう かつよう 否確認、避難支援等に活用しました。	げんじよういじ 現状維持: これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	ちようじゅ か 長寿・介 いご ぼけん か 護保険課			さいがいたい ひなんこうどう ようしえんしや めいぼ しこう うんよう かだい あら だ おこな 災害時避難行動要支援者名簿システムを試行運用し、課題の洗い出しを行いま した。	げんじよういじ 現状維持: これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ ないよう 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 自然災害	けんこうふくし 健康福祉 せいさく か 政策課	ひなんこうどうようしえん 避難行動要支援 者の把握	ちいき ぼうさいけいかく もと 地域防災計画に基づき、 さいがいじ ひつよう しえん じつ 災害時に必要な支援を実 施するため、避難行動要 支援者名簿を作成してい ます。この名簿に登録さ れた方の内、平常時から の提供に同意された 方について、消防、警察、 民生委員、自主防災組織 等へ名簿情報を提供して います。また、登録を希望 された障害者等の申請に 基づき、緊急連絡先等の 情報を登録する災害時要 援護者避難支援事業を実 施しています。	れいわ ねんど どうにゆう ひなんこうどうようしえんしゃめいぼかんり 令和2年度に導入した避難行動要支援者名簿管理システムにより、避難行動要 支援者名簿や災害時要援護者避難支援事業の名簿に登録された方の情報を把 握しています。 また、校区コミュニティ協議会や民生委員等の協力のもと、災害時要援護者避難 支援事業における「避難支援者」の設定についても引き続き取り組みました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいしえん 障害支援 か 課			ひなん こうどう よう しえん しゃ しな いしょうがっこう めいぼ せいび ほか さいがいじょうほう 避難行動要支援者の市内小学校校区ごとの名簿を整備した他、災害情報カードの 配布にかえて、平成31年1月からヘルプカード(必要な支援や連絡先を記載)を 配布し、障害者の安否確認から避難誘導、避難所生活などへの配慮が可能とな るよう体制整備に取り組みました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する
	ほけんよぼうか 保健予防 課			していなんびょう かんじゃ じかん じんこう こきゅうき そうちやく きかん せつかい おこな かんじゃ じん 指定難病患者で24時間人工呼吸器装着または気管切開を行っている患者、人 工呼吸器装着児について避難行動要支援者として名簿を作成し情報を管理して います。6月、10月、3月に名簿の見直しを行い、対象者の確認を行いました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく き 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	とく 取り組み	とく ないよう 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 自然災害	き き かんり 危機管理 たいさくすいしん 対策推進 課	ぼうさいいしき こうよう 防災意識の高揚と ちい き しえん た 地域での支援体 せい 制づくり	ぼうさい けいはつ おこな 防災について啓発を行う さいがいじ ひなん とともに、災害時の避難 ばしよ きんきゆうじ 場所や緊急時における連 んらくほうとう しゅうち はか 絡方法等の周知を図りま す。また、自然な形で支 援を受けられるよう、日常 うてき かんけいづく ふく ちい 的な関係作りを含めた地 き しえんたいせい きょうか はか 域支援体制の強化を図り ます。	ぼうさい かん でまえこうざ かいじっし ちい き ぼうさいいしき たか とく おこな 防災に関する出前講座を15回実施し、地域での防災意識を高める取り組みを行 いました。 また地域における自主防災訓練への支援を29回実施し日常的な関係作りを含め ちい き しえんたいせい きょうか はか た地域支援体制の強化を図りました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	けんこうふくし 健康福祉 政策課			れいわ ねんど どうにゆう ひなんこうどうしえんしやめいぼかんり ひなんこうどうしえ んしやめいぼ さいがいじようえんごしや ひなんしえん じぎょう めいぼ どうさい かた じようほう は 支援者名簿や災害時要援護者避難支援事業の名簿に登載された方の情報を把 あく 握しています。 また、校区コミュニティ協議会や民生委員等の協力のもと、災害時要援護者避難 じぎょう ひなんしえんしや せつてい ひ つづ とく 支援事業における「避難支援者」の設定についても引き続き取り組みました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいしえん 障害支援 課			ひなん こうどう よう しえん しや しな い しょうがっこう く めいぼ せいび ほか さいがいじようほう 避難行動要支援者の市内小学校区ごとの名簿を整備した他、災害情報カードの はいふ へいせい ねん がつ ひつよう しえん れんらくさき きさい 配布にかえて、平成31年1月からヘルプカード(必要な支援や連絡先を記載)を はいふ しょうがいしや あんび かくにん ひなん ゆうどう ひなん しょうせいかつ はいりよ かのう 配布し、障害者の安否確認から避難誘導、避難所生活などへの配慮が可能とな たいせいせいび とく るよう体制整備に取り組みました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	ちようじゅてん 長寿・介 かいごほけんか 護保険課			れいわ ねん がつ にち ひら ぼうず ひらかたしろうごうぼうさいくれん さんか ひらかたし そう ごうふくし ふくしひなんじよ かいせつ かだいなど あら だ おこな 合福祉センターでの福祉避難所開設における課題等の洗い出しを行いました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	と 取り組み	と 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 自然災害	しょうがいしえん 障害支援 か 課	ヘルプカードの配 いふ 布	きんきゅうじ さいがいじ こま 緊急時や災害時、困った しゆい はいりよ てだ ときに、周囲の配慮や手 す ねが 助けをお願いしやすくする 「ヘルプカード」を配付しま はいふ す。	へいせい ねん がつ さいがいじようほう か しんたいしやうがいしやてちやう りやういくてちやう せいしん 平成31年1月から、災害情報カードに替えて、身体障害者手帳、療育手帳、精神 しょうがいしやほけんふくしてちやう まどぐち こうふ さい てちやう はいふ 障害者保健福祉手帳を窓口で交付する際に、手帳とともにヘルプカードを配布し ています。このカードに、支援が必要な事項を具体的に記載して所持していただく さいがい じ ひなんせいいかつとう てきせつ しえん おこな ことで、災害時の避難生活等においても、より適切な支援が行われるように取り く 組みました。	げんじようじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいきかく 障害企画 か 課	きんきゅうつうほうそうち 緊急通報装置の せつち 設置	きんきゅうつうほうそうち たいよじぎよ 緊急通報装置の貸与事 う けいぞく 業については、継続して じぎょう じっし、ひとり暮ら 事業を実施し、ひとり暮ら しなどの重度障害者の不 あんかん かいしやう はか 安感の解消を図ります。	く しんたいしやうがいしや ちてき しょうがいしや せいしんしやうがいしやおよ なんびよかんじやとう ひとり暮らしの身体障害者、知的障害者、精神障害者及び難病患者等に対して、 きんきゅうつうほう そうち たいよ きゅうびよさいがいとう きんきゅうじ じんそく てき 緊急通報装置を貸与することにより、急病・災害等の緊急時における迅速かつ適 せつ たいおう かくほ 切な対応を確保するとともに、ひとり暮らしの不安解消を図りました。令和4年3月 にちげんざい めい きんきゅうつうほう そうち りやうちゆう 31日現在、34名が緊急通報装置を利用中です。	げんじようじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいきかく 障害企画 か 課	か さいよ ほうてんけん 火災予防点検の すいしん 推進	く じゆうどし ひとり暮らしなどの重度障 うがいし せたい たいしやう かせ 害者世帯を対象とする火 いよ ほうてんけんじぎょう 災予防点検事業について は、今後も、対象世帯の こんご たいしやうせたい 把握に努めるとともに、利 はあく つと りよ 用を促します。また、事業 うなが じぎょう の周知を図ります。	れいわ ねんど しょうぼうし おおさか きよりよく え じぎょう じっし て 令和2年度まで、消防署、大阪ガスの協力を得て、事業を実施していましたが、電 んりよくじゆうか おおさか か さいよ ほうてんけんじぎょう しゆうりやう 力自由化により大阪ガスによる火災予防点検事業は終了となりました。なお、4 ねん かいぎ む かくじぎょうしや せつびていきほあんてんけん あんぜん 年に1回義務づけられている各事業者のガス設備定期保安点検により、安全は たんぽ 担保されています。	しゆうりやう(か 終了(完 んりよう)じぎょう 了):事業 もくてき たっせい 目的を達成 とりくみ した取組

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう ほう 向
(1) 自然災害	ききかんり 危機管理 たいさくすいしん 対策推進 か 課	さいがい いじ 災害時における要 はいりよ しょう はん 慮者の支援と福 し ひなんじよ じゅうじつ 祉避難所の充実	ち いきぼうさいけいかく もと 地域防災計画に基づき、 しょうがいしや あんぴかくにん ひなん 障害者の安否確認、避難 ゆうどう ひなんじよせいかつ 誘導、避難所生活におけ るはいりよ あんぜんたいさく 配慮などの安全対策を てきかく じっし たいせい 的に実施できる体制の せいび とく 整備に取り組みます。ま た、障害の特性に応じた ひなんせいかつ ふくし ひ 避難生活ができる福祉避 なんじよ じゅうじつとう とく 難所の充実等に取り組み ます。	さいがい いじ ひなんこうどうようしえんしやめいぼ さくせい 災害時避難行動要支援者名簿を作成することにより把握している。 めいぼとうろくたいししょうしや かいご ほけん しょうかいご 名簿登録対象者は、①介護保険の要介護3～5の認定者、②身体障害者手帳 1・2級を交付されている身体障害者(児)、③療育手帳Aを交付されている知的 障害者(児)、④精神障害者保健福祉手帳1級を交付されている精神障害者 (児)、⑤障害者総合支援法に基づくサービスを利用している難病患者。 災害時には避難支援等に必要範囲において、名簿情報を避難支援等関係者 へ提供することに同意していない対象者についても避難支援等関係者へ提供し、 災害時の安否確認、避難支援等に活用する。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	けんこうふくし 健康福祉 せいさくか 政策課			れいわ ねんど どうにゆう ひなんこうどうようしえんしやめいぼかんり 令和2年度に導入した避難行動要支援者名簿管理システムにより、避難行動要 支援者名簿や災害時要援護者避難支援事業の名簿に登録された方の情報を把 握しています。 また、福祉避難所を円滑に運営するため、指定福祉避難所への物品の配備に取 り組みました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいしえん 障害支援 か 課			いっていいいじょう しょうがい うち めいぼじょうほう ていきょう どうい 一定以上の障害のある内、名簿情報の提供に同意された方の名簿を、関係課と 連携して、民生委員や自主防災組織など避難支援等関係者に提供しています。 くわ めいぼじょうほう かんり さいがい いじ かつよう 加えて、名簿情報を管理し、災害時に活用するため、関係課と連携して、避難行 動要支援者名簿管理システムを導入し、運用を開始しました。 また、要援護者の市内小学校区ごとの名簿を整備するとともに、ヘルプカード(必 要な支援や連絡先を記載)を配布することで、障害者の安否確認から避難誘導、 避難所生活などへの配慮が可能となる体制の整備を行っています。 また、要援護者の市内小学校区ごとの名簿を整備するとともに、ヘルプカード(必 要な支援や連絡先を記載)を配布することで、障害者の安否確認から避難誘導、 避難所生活などへの配慮が可能となる体制の整備を行いました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく き 施策の基 ほんもくひよう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	とく 取り組み	とく ないよう 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 自然災害	ちようじゆてん 長寿・介 かいごほけんか 護保険課	さいがい じ 災害時における要 はいりよしや し えん ふく 配慮者の支援と福 し ひなんじよ じゆうじつ 祉避難所の充実	ちいきほうさいけいかく もと 地域防災計画に基づき、 しょうがいしや あんびかくにん ひなん 障害者の安否確認、避難 ゆうしるべ ひなんじよせいかつ 誘導、避難所生活におけ はいりよ あんぜんたいさく る配慮などの安全対策を てきかく じつし たいせい 的確に実施できる体制の せいび とく 整備に取り組みます。ま た、しょうがい とくせい おう た、障害の特性に応じた ひなんせいかつ ふくしひなん 避難生活ができる福祉避 しよ じゆうじつとう とく 難所の充実等に取り組み ます。	れいわ ねん がつ にち ひら ほうず 令和3年9月4日の枚ひこ防 z2021(枚方市総合防災訓練)において、避難行動 ひらかたし そうごう ぼうさいくんれん 要支援者安否確認の訓練を行いました。同日、枚方市総合福祉センターで福祉 よう しえんしや あんび かくにん くんれん おこな どうじつ ひらかたし そうごう ふくし 避難所の開設訓練を行いました。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する



れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績					
施策の基 本目標	所管課		取り組み	取り組み内容	今後の方 向
(1) 自然災害	保健予防課	難病患者・重症心身障害児等への災害時対応	指定難病患者で24時間人工呼吸器装着または気管切開を行っている患者とその家族、人工呼吸器装着児とその家族に対し、保健師が個別に、災害時に対応できるよう準備物や行動確認等の助言を行います。	患者及び家族に対して家庭訪問を実施し、病状等の状況把握を行うとともに、パンフレットを用いて災害時に対応できるよう準備物や行動確認を行いました。	現状維持： これまでの 取組を継続 する
	母子保健課			人工呼吸器装着児等の要援護児について、医療機関を含む関係機関と連携をはかりながら、把握に努めました。 人工呼吸器装着児とその家族に対して、担当保健師が家庭を訪問し、使用機種やバッテリーの有無等災害時の準備、療養室に関する情報収集と災害時の行動確認を実施しました。	現状維持： これまでの 取組を継続 する
(2) 感染症対策	障害企画課	緊急通報時手話通訳派遣事業(タブレット端末を利用)	聴覚障害者が新型コロナウイルス感染症の疑い等の感染症対策のため、緊急受診の際の手話通訳者派遣について、タブレット端末等を利用した遠隔手話通訳を実施します。	通常は、聴覚及び言語機能障害者とその家族が、病気又は事故により救急車を要請した場合等の緊急通報時において、健聴者との意思疎通を円滑にする必要があるときに緊急通報時手話通訳者を派遣します。しかしコロナ禍中、新型コロナウイルス感染症の疑い等あった場合は、通訳者と利用者の間感染症防止の対策としてタブレット端末等を利用して遠隔手話通訳を行います。令和3年度の実績報告は、ありません。	現状維持： これまでの 取組を継続 する

3. 安心して生活できるサービスの確保と提供

1 地域生活への支援

		計画		令和3年度実績	
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	取り組み内容	今後の方 向
(1) 福祉サービス提供体制の充実と質の向上	障害企画課	訪問系サービス	さまざまな障害特性に応じて必要なサービス提供ができるよう、事業者と連携して、介護者の人材の資質の向上に努めます。	令和3年度の居宅介護の支給決定者数は984人、利用実績は331,142時間、重度訪問介護の支給決定者数は25人、利用実績は100,377時間、同行援護の支給決定者数は176人、利用実績は28,914時間、行動援護の支給決定者数は9人、利用実績は4,259時間でした。 事業者連絡会と連携し、研修等を通じて介護人材の質の向上に取り組みました。	現状維持： これまでの 取組を継続 する
	障害企画課	短期入所サービス	事業所の新規開設や定員増等について事業者へ働きかけます。また、緊急利用や医療ケアへの対応等様々なニーズに対応したサービスの確保に努めます。	令和3年度の支給決定人数は935人で、9,177日の短期入所の利用がありました。	現状維持： これまでの 取組を継続 する
	障害企画課	日中活動系サービス	利用者ニーズに応じたサービス提供の確保に努めるとともに、事業者の支援施策として既存事業者の施設整備や定員増のほか、新たな日中活動の場の確保とこれに担う人材の育成に努めます。	・日中活動系サービスの事業所へ通所する在宅の精神障害者等に対して交通費の一部を助成する、「枚方市障害者通所支援補助事業」を実施、通所サービスの活用を促しました。 給付実績：56事業所を利用する341人 ・就労継続支援B型の事業所の新規整備に係る、枚方市障害者施設等整備費補助金の交付申請が採択され、令和4年度中に開設予定です。	現状維持： これまでの 取組を継続 する



		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	と 取り組み	と 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 福祉サービス提供体制の充実と質の向上	しょうがいきかく 障害企画 課	グループホーム	じぎょうしゃ たい しん きかいせ 事業者に対し、新規開設 つとう かか せいび ほじょ うんえい 等に係る整備補助・運営 にかか しえん おこな に係る支援を行い、グ ループホームの整備促進 を図ります。また、世話人 の養成講座を実施し、人 材の確保・育成に努めま す。	<p>が かつ ひらかたしちてきしょうがいしゃ せわにんようせいけんしゅう もよお めい かた ・9月に「枚方市知的障害者グループホーム世話人養成研修」を催し、10名の方 が受講され、7名が修了されました。</p> <p>しない ・市内にグループホームを新規に開設、又は定員を増加するための増設をする事 業を行う際に、枚方市グループホーム新規開設等整備補助金を交付することに より、グループホームの整備を図るとともに、障害者の地域移行促進を図りまし た。</p> <p>こうふじっせき じぎょうしよ しんきかいせつ えん 交付実績：8事業所（新規開設） 10,500,000円</p> <p>せいかつしえんいんがきょうどうせいかつえんじよ おこな じゅうきよ じょうちゅう また じゆんかい ・生活支援員が共同生活援助を行う住居に常駐し、又は巡回することにより行う 日常生活上の援助のあった利用者の障害程度に応じて、枚方市グループホーム 運営費補助金を交付することにより、グループホームの運営安定化を図るととも に、障害福祉サービスの提供体制の確保と質の向上を図りました。</p> <p>こうふじっせき じぎょうしよ えん 交付実績：25事業所 30,980,400円</p> <p>こんご じゅうどうしょうがいしゃ あんしん ちいき せいかつ しえん 今後、重度障害者が安心して地域で生活できるようグループホームへの支援を おこなう じゅうどうしょうがいしゃ うけいれ そくしん はかる と く ひつよう 行うとしていることから、重度障害者の受け入れの促進を図る取り組みが必要で す。</p>	かくじゅう とりぐみ 拡充：取組 はってん かく を発展・拡 充させる
	しょうがいきかく 障害企画 課	いどうしえん 移動支援	ぞうだい た よう か りようしゃ 増大し多様化する利用者 ニーズに対応するため、 ガイドヘルパー養成研修 を実施する等、人材の確 保・育成に努めるととも に、利用対象者の範囲や 利用目的を見直すなど、 せいで りべんせいにうじょう つと 制度の利便性向上に努 めます。	<p>が かつ が かつ ひらかたししょうがいしゃ しょうせいけんしゅう じっし めい しゅうりょうしよ こう 9月、3月に枚方市障害者ガイドヘルパー養成研修を実施し、63名に修了書を交 付しました。また、移動支援の令和3年度の支給決定人数は2,017人、利用実績 は173,665時間でした。</p>	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりぐみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	と 取り組み	と 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 福祉サービス提供体制の充実と質の向上	しょうがいきかく 障害企画 課	ちい きかつどうしえん 地域活動支援セン ター	がた たよう I型は、多様なニーズに たいおう きよてん 対応するための拠点とし て各地域の障害者支援の ちゅうしんてきやくわり きのう 中心的役割としての機能 を高めま。II型・III型 は、創作的活動、生産活 動、交流の場等、障害者 の日中活動の場として、 計画的に整備を促進しま す。	ちい きかつどうしえん がた じぎょうしよ がた じぎょうしよ がた じぎょうしよ ひらか 地域活動支援センター I型は6事業所、II型は1事業所、III型は2事業所が枚方 市内にあり、枚方市障害者地域生活支援事業として8法人に運営を委託していま す。 III型事業では、創作的活動、生産活動、社会との交流促進等を、II型事業では、 機能訓練や社会適応訓練等が加わり、I型事業では、更に相談支援事業、社会 基盤との連携を図るとともに、ボランティア育成や障害に対する理解促進のため の啓発事業等を実施しています。	げんじよういじ 現状維持： これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいきかく 障害企画 課	にちじようせいかつようぐ ぼ 日常生活用具・補 装具	てき き とりあつかいひんもく きゅうふ げ 適宜、取扱品目や給付限 度額を見直す等して、障 害者の生活実態に見合っ たサービス提供に努めま す。	た し じようきよう かくにん とりあつかいひんもく みなお 他市の状況を確認しながら、取扱品目の見直しをするなどして、障害者の生活実 態に見合ったサービス提供に努めました。	げんじよういじ 現状維持： これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく き 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	と 取り組み	と 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 障害福祉サービスの提供体制の確保と質の向上	しょうがいしえん 障害支援 課	こうれいしょうがいしや にち 高齢障害者の日 じようせいかつしえん 常生活支援	こうれいしょうがいしや りよ 高齢障害者のサービス利 う かいごほけん ゆうせん 用は介護保険が優先です が、介護保険にはない障 うがゆくせい ゆらい ひつよう 害特性に由来する必要な サービスを提供します。ま た、障害固有のニーズを こうりよ 考慮したサービス提供に つと 努めます。	しょうがいふくし りようしや なか かいごほけん ゆうせん かた 障害福祉サービス利用者の中で介護保険サービスが優先される方をあらかじめ はあく うえ じぜん かいごにんてい うなが きり め 把握した上で、事前に介護認定の促しをおこない、切れ目なくサービスが受けら れるように心がけ、また、介護保険サービスにない障害福祉サービス固有のもの や、障害特性によって障害福祉サービスでの提供が適切と判断した方について は、引き続き障害福祉サービスを提供しました。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	ふくししどう 福祉指導 かんさか 監査課	ふくしじぎょうしや して 福祉事業者の指 い しどうかんとう 定・指導監督	していしょうがいふくし じぎふ 指定障害福祉サービス事 うしやとう してい しどうかんとう 業者等の指定・指導監督 等を行い、自立支援給付 たいしやう どう しつ かく 対象サービス等の質の確 保及び自立支援給付の てきせい か ほか 適正化を図ります。	しよかん していしょうがいふくし じぎょうしやとう たいしやう していけんしやうとう つう か 所管の指定障害福祉サービス事業者等を対象とした指定時研修等を通じて、関 んけいほうれい せいど しゆし もくてき じりつしえんきゆうふひ さんていようけんとう しゆうち 係法令や制度の趣旨・目的、自立支援給付費にかかる算定要件等について周知 しました。集団指導については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点か ら、ホームページに資料を通年で掲載するとともに、事業者に周知し実施しまし た。 また、個別の事業所に対して実施した実地指導も、新型コロナウイルス感染症拡 くたいほうし かんてん うんえいきじゆん いはん うたが など とく しどう か 大防止の観点から、運営基準に違反している疑いがある等、特に指導または監 んさ ひつよう みと じぎょうしよ たいしやう おこな 査が必要と認められる事業所を対象として行いました。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ ないよう 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(2) 多様なコミュニケーション	しょうがいきかくか 障害企画 課	かくしゅようせいこうざ 各種養成講座の じっし 実施	しゅわ ようやくひっき てんやく お 手話・要約筆記・点訳・音 訳等の講習会を実施し、 ほうしん すその ひろ 奉仕員の裾野を広げ、ま た、有資格者の拡大も目 ざ 指します。	<p>[手話講習会] じっし かいすう ごぜん ぶ やかん ぶ ・実施回数 午前の部40回 夜間の部40回 しゅりようしやすう ごぜん やかん あ ・修了者数 36人(午前・夜間と合わせて)</p> <p>[手話ステップアップ講座] じっし かいすう おうよう つうやくあわ かい ・実施回数 応用、通訳合わせて40回 しゅりようしやすう ひと おうよう つうやく ・修了者数 10人(応用から通訳コースまで)</p> <p>[点訳講習会] しんがた かんせんしやう かくだい えいきやう さん かしや あつ かいさいちゆうし ・新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で参加者が集まらず、開催中止となり ました。</p> <p>[音訳講習会] しんがた かんせんしやう かくだい ぼうし こえ だ じつぎ しょうりやく かいこうしゅう ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、声を出す実技を省略し6回講習 を じっし めい しゅりよう を実施。8名が修了となりました。</p>	げんじよういじ 現状維持: これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいきかくか 障害企画 課	しゅわつうやくしや ようやく 手話通訳者・要約 ひっきしやとう はけん 筆記者等の派遣	りようしや おう 利用者のニーズに応じ しゅわつうやくしや ようやくひっ て、手話通訳者・要約筆 きしやとう はけん 記者等を派遣します。ま た、登録手話通訳者のス キルアップを図るための げんにんけんしゅう じっし 現任研修を実施します。	<p>・ようやくひっきつうやくじぎょう 要約筆記通訳事業 はけんけんすう けん はけんじかん じかん 派遣件数9件 派遣時間72時間</p> <p>・しゅわつうやくはけんじぎょう 手話通訳派遣事業 はけんけんすう けん はけんじかん じかん 派遣件数1,332件 派遣時間2,054.5時間</p> <p>ロ とうろくしゅわつうやくしやげんにんけんしゅう 登録手話通訳者現任研修 かいじっし し、さいだい にん が じゅこう 8回実施し、最大24人が受講されました。</p>	げんじよういじ 現状維持: これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく き 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ ないよう 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(2) 多 様な コミ ュニケー ション	こうほう 広報プロ モーショ ン課	てんじ おんせい しゅわ 点字・音声・手話 など じょうほうていきよ 等による情報提供	こうほう ひらかた し ぎ 広報ひらかた、枚方市議 かいほう けんこうべんり 会報、ひらかた健康便利 ちよう しせいじょうほう てんじ 帳など市政情報を点字・ おんせい ていきよう 音声で提供します。 し しゅさいじぎょう しゅ 市主催事業について、手 わ つうやくしゃ せっち はたら 話通訳者の設置を働きか けます。 また、市のホームページ について、おんせい もう 音声ガイドを設 けるなど、ユニバーサル デザイン(jyuuji)の充実を図りま す。	こうほう てんじ・おんせい ていきよう おんせいよ あ かのう たげんごた 広報ひらかたを点字・音声で提供しました。また、音声読み上げが可能な多言語 いおう どうにゆう こうほう はいしん 対応アプリを導入し、広報ひらかたを配信しました。 また、市ホームページのリニューアルに伴い、やさしい日本語(にほんご)に対応(たいおう)するととも に、ひ つづ おんせい もう 引き続き、音声ガイドを設けるなどユニバーサルデザイン(jyuuji)の充実を図りまし た。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	ぼしほけんか 母子保健 課			けんこうべんりちよう てんやく ろくおんぼん さくせい たいしやうしや ていきよう 「ひらかた健康便利帳」の点訳・録音盤を作成し、対象者へ提供しました。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ ないよう 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 回
(2) 多様な手法によるコミュニケーション支援	しょうがいきかく 障害企画 か 課	てんじ おんせい しゅわ 点字・音声・手話 による情報提供	こうほう ひらかたしぎかい 広報ひらかた、枚方市議 会報、ひらかた健康便利 帳など市政情報を点字・ 音声で提供します。 市主催事業について、手 話通訳者の設置を働きか けます。 また、市のホームページ について、音声ガイドを設 けるなど、ユニバーサル デザインの充実を図りま す。	れいわ3ねんど かいさい 令和3年度に開催した、枚方市社会福祉審議会障害福祉専門分科会及び自立 支援協議会全体会では、手話通訳者に加えて、拡大文字による資料の作成も行 ないました。 また、本市ホームページに新型コロナウイルス感染症拡大防止にかかる市長の 緊急メッセージを掲載した際には手話通訳者の動画を併せて掲載しました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する
	ぎ じちようさ 議事調査 か 課			ぜんねんど どうよう れいわ ねんど ひらかたし ぎかい ほう ないよう ぜんぶん けいさい てんじ こえ 前年度と同様に、令和3年度も枚方市議会報の内容を全文掲載した点字・声の 議会報を発行し、全ての希望者に配布するとともに、枚方市議会報と市議会ホー ムページで点字・声の議会報のPR文を掲載しました。また、声の議会報の音声 データについても引き続き市議会ホームページで公開しました。 手話通訳者の配置については、令和3年度は依頼がありませんでしたが、今後も 枚方市議会報や市議会ホームページで周知を図ります。	げんじょういじ 現状維持： これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいきかく 障害企画 か 課	じゅうどしょうがいしゃにゆうい 重度障害者入院 時コミュニケーション 支援	じゅうどほうもんかいご こうどう 重度訪問介護および行動 援護等の支給決定を受け ており、コミュニケーション 支援が必要な重度の障害 者が入院した場合に、医 療機関との意思疎通を円 滑に図ることができるよう 支援します。	にゅういんじ しえん たいおう おお しょうがいしゃ あ 入院時のコミュニケーション支援のニーズに対応するため、より多くの障害者が安 定した入院生活を送ることができるよう、令和元年10月に本事業の要綱を改正 し、対象者を拡大しました。令和3年度の利用者は1名でした。	げんじょういじ 現状維持： これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する

2 緊急時の対応

		計画	令和3年度実績		
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	取り組み内容	今後の方 向
(1) 障害ニ ーズに 応じた 対応	障害企画 課	緊急通報装置の 設置	緊急通報装置の貸与事 業については、継続して 事業を実施し、ひとり暮ら しなどの重度障害者の不 安感の解消を図ります。	ひとり暮らしの身体障害者、知的障害者、精神障害者及び難病患者等に対して、 緊急通報装置を貸与することにより、急病・災害等の緊急時における迅速かつ適 切な対応を確保するとともに、ひとり暮らしの不安解消を図りました。令和4年3月 31日現在、34名が緊急通報装置を利用中です。	現状維持： これまでの 取り組み、けいぞく 取組を継続 する
	障害企画 課	地域生活支援拠 点の整備	相談、一人暮らしやグ ループホーム等の体験の 機会、緊急時の受入 れや対応等の機能を有し た地域生活支援拠点の 整備を進めます。	障害福祉計画(第6期)において、令和5年度末までの設置を目標と掲げている地 域生活支援拠点について、毎月開催の枚方市自立支援協議会幹事会及び、枚 方市自立支援協議会相談支援部会場で、引き続き検討を行っているところで す。	拡充：取組 を発展・拡 充させる
	障害企画 課	ネット119緊急通 報システムの活用	聴覚、音声・言語又はそ しゃく機能の障害により、 音声による119番通報が 困難な方のために枚方寝 屋川消防組合等が提供 するネット119緊急通報シ ステムの周知と利用促進 に努めます。	ネット119緊急通報システムの利用を希望される障害のある方に申請手続きの案 内を行いました。また、ネット119緊急通報システムのメンテナンス等、利用者に影 響が出る事象が発生した場合に、枚方寝屋川消防組合と情報共有を行い、連携 を図りました。	現状維持： これまでの 取り組み、けいぞく 取組を継続 する

3 保健・医療との連携

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	とく 取り組み	とく ないよう 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 保健・医療との連携	けんこう 健康づく り・介護 予防課	けんこうそうだんじぎょう 健康相談事業の すいしん 推進	せいかづゆうかびょう にちじょう け 生活習慣病や日常の健 んこうかんり 康管理などについて、保 けんし かんりえいようし 健師や管理栄養士などの せんもんしよくいん しどう じよ 専門職員による指導や助 げん おこな 言を行います。	ほけん つき かい ていれい じっし ほか ひつよう おう ずいじ じっし 保健センターで月1回(定例)実施の他、必要に応じて随時実施しました。	げんじよういじ 現状維持:  これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	けんこう ふくし 健康福祉 そうごうそうだん 総合相談 か 課			けんこう ふくし そうだん ほくぶ かんり えいようし そうだん つき かい ていれい じっし 健康福祉相談センター北部リーフで管理栄養士による相談を月1回(定例)実施。 ほけんし けんこうそうだん ずいじ じっし 保健師による健康相談を随時実施しました。	げんじよういじ 現状維持:  これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	けんこう 健康づく り・介護 予防課	ほうもんしどうじぎょう 訪問指導事業の すいしん 推進	ほけんし りがくりようほうし さぎよ 保健師・理学療法士・作 りようほうし かんりえいようし 業療法士・管理栄養士・ し か えいせいし ほけん 歯科衛生士などの保健セ んターのせんもんスタッフによ るほうもんしどうじぎょう とく 訪問指導事業に取り組 みます。	ひつよう おう ほけんし りがくりようほうし さぎよりようほうし かんり えいようし しか えいせいし など 必要に応じ、保健師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、歯科衛生士等によ るほうもんしどう じっし 訪問指導を実施しました。	げんじよういじ 現状維持:  これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する



		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく き 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	と 取り組み	と 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 保健・医療との連携	けんこう 健康づく かいご り・介護 よぼう か 予防課	けんこうきょういじぎょう 健康教育事業の すいしん 推進	せいかつしゅうかびょう よぼう け 生活習慣病の予防や健 んこう ほ じ ぞうしん ほか 康の保持・増進が図れる けんこう かん ただ よう、健康に関する正しい ちしき ふきゅう けんこうきょういく 知識を普及する健康教育 じぎょう と く 事業に取り組みます。	ほけん きょうしつ でまえこうざ いらい ちいき でむ けんこう かん 保健センターでの教室や、出前講座などの依頼により地域に出向いて、健康に関 こうざ じっし する講座を実施しました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	けんこう ふくし 健康福祉 そうごう そうだん 総合相談 か 課			でまえ こうざ いらい ちいき でむ けんこう かん こうざ じっし 出前講座などの依頼により地域に出向いて、健康に関する講座を実施しました。 また、市民 いらい ほけんし はたら ちいき あつ でむ からの依頼や保健師からの働きかけによって地域の集まりへ出向き、 けんこうきょういく かい じっし 健康教育を4回実施しました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ ないよう 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 保健・医療との連携	けんこう 健康づく り・介護 予防課	こうくう けん 口腔保健の推進	しょうがいしゃ じ 障害者(児)の入所・通所 施設で歯科健康診査や口 腔衛生指導が実施できる よう環境整備に努める 等、障害者・児の口腔ケ アや口腔機能の向上を図 ります。	しょうがいしゃ じ ・障害者(児)の入所・通所施設に出向き、歯科健康診査および、口腔衛生指導を 行いました。また、希望施設に対して、施設職員や通所・入所者に対し、健康教育 やはみがき指導を実施しました。 ・乳幼児健康診査に来所できない医療的ケア児等の障害児に、歯科健康診査の 機会を設けるため個別にて訪問歯科健康診査を実施しました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する
	ほ けんよ ぼうか 保健予防 課	なんびょう かんじゃ りょうよう 難病患者の療養 支援	してい なんびょう かんじゃ か ぞく 指定難病患者とその家族 の在宅療養支援を目的に 保健師や専門職による相 談事業、訪問指導事業、 医療講演会、患者家族交 流会等を実施します。ま た、支援スタッフの難病に 関する知識・理解の促進 や支援技術の向上を図る ため、関係機関等に研修 会を実施します。	せんもんしよく 専門職による相談事業を26回実施、相談延べ件数は45件(うち訪問延べ件数は 33件)でした。保健師の訪問件数は186件でした。 訪問員相談育成事業として、在宅医療や介護に従事する専門職を対象に「難病 患者コミュニケーション支援の実際～支援の基本と実際を学び対応力を高めよう ～」というテーマで研修を開催し、48名が参加しました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	と 取り組み	と 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 保 健・医 療との 連携	ほけんいりよう 保健医療 課	せいしんしつかんかんじや 精神疾患患者に たい そうだんたいせい に対する相談体制の じゅうじつ 充実	せいしんしつかん ゆう もの 精神疾患を有する者、ま たは 疑いがある者または その家族に対して、精神 科医や臨床心理士、精神 保健福祉士、保健師等に よる相談を実施します。精 神疾患の早期発見、早期 治療の推進等に向けた相 談を行います。	れいわ ねんど そうだんけんすう の けん 令和3年度の相談件数は延べ3,980件であり、うち訪問については延べ705件実 施しました。 せいしんしつかん そうき はっけん そうき ちりよう もくてき そうだん 精神疾患の早期発見・早期治療を目的とした相談については、受療支援が延べ 170件(うち訪問60件)、精神科医師による診断・判定が延べ45件でした。 また、症状の再燃や悪化を防ぐための治療継続支援については、延べ102件の 相談を実施しました。 ほけんじよ じっし 保健所で実施している精神保健相談については、相談件数は前年度より増加し ており、新型コロナウイルス感染拡大による経済活動への影響による雇用や暮ら し、うつやアルコール問題など健康問題の悪化による相談が断続的に続いていま す。 へいせい ねんど かいせつ また平成27年度より開設していた『こころの健康相談ダイヤル』(専用回線にて実 施)については、令和2年度末に保健所の直通電話に統一しましたが、こころの 健康相談の相談件数は延べ2,323件となっています。 ないよう そうきゆう せいしんほけん そうだん たいおう ひつよう 内容により早急に精神保健相談として対応することが必要なものについては、相 談者の同意を経て相談を受理し、早期発見・治療に向けた支援を開始することが できています。 こんご ひ つづ ほけんじよ そうだん しえん しゅうち はか そうき はっけん ちりよう 今後も引き続き、保健所の相談支援について周知を図ると共に、早期発見・治療 に向けた支援を実施します。	げんじよう いじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひよう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	と 取り組み	と 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 保健・医療との連携	ほけんいりよう 保健医療 か 課	ざいたくいりようたいせい 在宅医療体制の じゅうじつ 充実	ひらかたしな い し かい いしかい 枚方市内の三師会(医師 し か い し かい やくざいし 会・歯科医師会・薬剤師 かい ほうもんかんご 会)や訪問看護ステーショ ンと連携し、在宅医療体 制の充実に取り組みま す。	しんがた かんせんしやう えいきやう けんいき かくし 新型コロナウイルス感染症の影響により、圏域の各市における在宅医療及び介 護連携推進事業の現状を共有し、在宅医療の連携に係る取り組みについて意見 交換を行う会議(「北河内在宅医療懇話会」)は開催されませんでした。今後も 在宅医療提供体制について取り組みと現状の課題、今後の在宅医療提供体制 の整備等について会議等を行う予定です。	げんじよういじ 現状維持: これまでの とくみ けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいきかく 障害企画 か 課	しょうがいしやし か しんりよう 障害者歯科診療	ひらかたし し か い し かい れんけい 枚方市歯科医師会と連携 し障害者の歯科診療の受 診機会をさらに増やすな ど診療体制の充実に努め ます。	ひらかたしきゆうじつしかきゆうびやうしんりようじよ ひらかたしいし か い かんない まいしゆうもくようび つき かい だよ 枚方市休日歯科急病診療所(枚方市医師会館内)で、毎週木曜日と月2回の土 曜日の午後1時～5時に診察を実施し、よって障害者等の歯科診療の機会の確 保を図りました。 れいわ ねんど の にんじゆしん 令和3年度:延べ679人受診	げんじよういじ 現状維持: これまでの とくみ けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく き 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ ないよう 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 保健・医療との連携	ほけんよぼうか 保健予防 課	ざいたくなんびょうかんにや 在宅難病患者の ちいきいりよう 地域医療	なんびょうかんにや かぞく あんしん 難病患者・家族が安心して ざいたくりようよう ちいき 在宅療養ができる地域 づくりと とりにく づくりに取り組むために、難 病専門医、かかりつけ い ちい き いりようかんけいしよくしゅ 医、地域の医療関係職種 とう れんけい きようか いりよう 等の連携を強化し、医療 ネットワークを構築しま す。	けんこういりよう とし 健康医療都市ひらかたコンソーシアム連携事業「枚方市難病対策分野 難病ネッ ぶかい きかく うんえいかいぎ かいさい ちいきいりよう かだい トワーク部会 企画運営会議」を開催し、地域医療の課題などについて情報共有 いけんこうかん おこな じつむしゃかいぎ かいさい よてい や意見交換を行いました。実務者会議は開催を予定していましたが、新型コ ろなウイルス感染症の拡大状況に鑑み延期となりました。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいし えん 障害支援 か 課	びょういん ちい きいこ 病院からの地域移 う 行	ひらかたしじりつしえんきようぎかいせいし 枚方市自立支援協議会 んしょうがいしやちいきせいかつしえんぶか 精神障害者地域生活支 い いりようきかんと 援部会において医療機関 う れんけい たいいんそくしん 等と連携し、退院促進に と くりく 取り組みます。	ひらかたしじりつしえんきようぎかいせいしんしょうがいしやちいきせいかつしえんぶかい れいねんじつし ひらか 枚方市自立支援協議会精神障害者地域生活支援部会が例年実施してきた枚方 たしない せいしんかびょうしょう きょうりよくいりようきかん ちようきにゆういん かんじゃとう ほうもん 市内の精神科病床のある協力医療機関に長期入院をしている患者等への訪問 めんせつ しんがた 面接について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、要支援者への かんせんぼうし いりようきかん かんせんたいさく じじょうとう こうりよ れいわ ねんど ひ 感染防止や医療機関における感染対策などの事情等を考慮し、令和2年度に引 きつづ ちゅうし いったい かんせんじようきよう ふ きようぎ ば せつてい じむきよ き続き中止としました。一方で、感染状況を踏まえながら協議の場を設定し、事務 く かいぎ ちゅうしん しゅうそくこ み す たいいんそくしん とく けんとう 局会議を中心に、コロナ終息後を見据えた退院促進の取り組みについて検討を おこな 行いました。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する

4.自分らしい生き方を見つける・選ぶ

1 就労に向けた支援

		計画		令和3年度実績	
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	取り組み内容	今後の方 向
(1) 就労にむけた支援	障害支援課	障害者合同就職面接会	ハローワーク枚方や枚方市障害者就業・生活支援センターと連携して、「障害者合同就職面接会」の開催を通じて、一般企業など等への啓発にも努めます。	一般企業への啓発については、ハローワーク枚方や枚方市障害者就業・生活支援センターが中心となって進めるなど、雇用の拡大を目指した取り組みを行いました。また、毎年1回開催している「障害者合同面接会」を、令和4年1月に開催し、この面接会による就職が実現しました。	現状維持： これまでの取り組みを継続する
	障害支援課	職場体験機会の提供	本市での「庁舎内実習」を実施して、障害のある人の職業体験機会の提供に取り組みます。	庁舎内実習では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、実習生を受け入れました。また、一般企業等においても、ハローワーク枚方や枚方市障害者就業・生活支援センターが中心となって実習の受け入れを呼びかけており、職業体験機会の拡大に取り組みました。	現状維持： これまでの取り組みを継続する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	と 取り組み	と 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 就 労にむ けた支 援	じんじか 人事課	チャレンジ雇用 障害のある人への 就労支援	平成29年度から実施して いる、障害のある人を一 定期間本市職員として雇 用する「チャレンジ雇用」 制度を、継続して実施して いきます。	障害のある方を臨時職員として1か月程度短期雇用する等の検証による実績を 踏まえ、将来の就労に向けた更なる支援として、平成29年度から「チャレンジ雇 用」を実施しています。令和3年度については、令和4年2月に募集を行いました が、応募者はいませんでした。令和4年度についても、引き続き募集を行います。	現状維持： これまでの 取組を継続 する
	しょうがいしえん 障害支援 課			平成29年度からチャレンジ雇用を開始し、これまでに障害のある方を計16名、非 常勤職員として雇用して支援を行いました。体調不良などのため退職となった方 もありましたが、その中から、3名の方について民間企業への就職が実現しまし た。	現状維持： これまでの 取組を継続 する
	じんじか 人事課	ししよいん こよう 市職員への雇用	本市の障害者活躍推進 計画で目標に掲げる障害 者雇用率の実現に向け て、職員採用試験におい て障害者枠を設けるととも に、非常勤職員等の採用 についても同様に取り組 んでいきます。	令和3年度の障害者雇用率は市全体で2.91%であり、目標に掲げる3%が未達の 状態です。雇用率向上を見据え、障害者の社会進出、雇用促進を目的に、引き 続き、事務員の区分に障害者枠を設けて職員採用試験を実施し、令和4年4月に 2名を雇用しました。	現状維持： これまでの 取組を継続 する



	<p>しょうがいきかく 障害企画 か 課</p>	<p>にっちゅうかつどうけい 日中活動系サービ ス</p>	<p>りよう　しゃ　　おう 利用者ニーズに応じた サービス提供の確保に努 めるとともに、既存事業所 の施設整備や定員増の ほか、新たな日中活動の 場の確保とこれを担う人 材の育成等事業者の支 援施策を講じます。</p>	<p>にっちゅうかつどうけい　じぎょうしょ　　つうしょ　　ざいたく　　せいしんしょうがいしゃなど　　たい　　こうつうひ ・日中活動系サービスの事業所へ通所する在宅の精神障害者等に対して交通費 の一部を助成する、「枚方市障害者通所支援補助事業」を実施、通所サービスの 活用を促しました。 給付実績：56事業所を利用する341人 ・就労継続支援B型の事業所の新規整備に係る、枚方市障害者施設等整備費補 助金の交付申請が採択され、令和4年度中に開設予定です。</p>	<p>げんじょういじ 現状維持： これまでの とりのみ　けいぞく 取組を継続 する</p>
--	--------------------------------------	---------------------------------------	---	--	---

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく き 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ ないよう 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(2) 就労に 関する 相談支 援	しょうがいしえん 障害支援 課	しゅうろうそうだんおよ 就労相談及び職 場定着支援	ひらかたしょうがいしやしゅうぎょう せいかつ 枚方市障害者就業・生活 支援センターが軸となっ て、ハローワーク等の関 係機関や企業との連絡調 整を進めながら、就業、社 会生活上の相談支援や 職場定着のための支援に 取り組みます。	ひらかたしょうがいしやしゅうぎょう・せいかつしえん 枚方市障害者就業・生活支援センターが中心となって、関係機関で構成する実務 担当者会議を月1回開催し、障害者の就労に向け議論を行うとともに、合同就職 面接会等、一般就労に向けた取り組みを実施しました。 また、枚方市自立支援協議会就労支援部会では市内の障害者事業所を対象に 連絡会を立ち上げ、就労支援員のスキルアップ向上を目的としたセミナーや事例 報告会を開催しました。	げんじょういじ 現状維持：  これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する
(3) 工賃向 上に向け た支援	しょうがいしえん 障害支援 課	しょうがいしや こうちん か 障害者の工賃改 善	ふくし 「福祉バザー」、「ふれあい フェスティバル」や総合福祉 会館や市駅ふれあいコー ナー内の販売コーナー等、 授産品の販促活動に継続的 に取り組んでいきます。ま た、ひらかた共同受注・優先 調達ネットワークの取り組み への支援を通じて、障害者 の工賃アップにつなげていき ます。	しょうがいしや しゅうろうしえん こうちん こうじょう もくてき ふくし 障害者の就労支援と工賃の向上を目的に「福祉バザー」、「ふれあいフェスティ バル」や「ラポールひらかた」、「ひらかた観光ステーション」内の販売コーナー、 「菅原生涯学習センター」、「ラポールひらかた」内の喫茶コーナーにて授産品や 飲食物の販売促進を継続的に実施しています。 また、就労支援事務局連絡において、複数の事業所が共同受注・優先調達ワー キングチームに参加し、共同受注センターについて研究を行った結果、令和元年 度から「ひらかた共同受注・優先調達ネットワーク」を立ち上げ、活動を行っていま す。	げんじょういじ 現状維持：  これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく き 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	とりくみ 取り組み	とりくみ ないよう 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(3) 工賃向上に向けた支援	しょうがいしえん 障害支援 か 課	ゆうせんちやうたつほうしん 優先調達方針に もと 基づく障害者就労 うしせつとう ぶつびん 施設等からの物品 とう ちやうたつ 等の調達	ゆうせんちやうたつほうしん もと 優先調達方針に基づき、 しょうがいしえんゆうろうし せつとう 障害者就労施設等からの ぶつびんとう ちやうたつ そくしん 物品等の調達を促進しま す。	へいせい ねん がつ しょうがいしやゆうせんちやうたつすいしんほう しこう 平成25年4月より障害者優先調達推進法が施行されたことを受け、市役所をはじ めないきぎょう いっぱんしみんとう はつちゆうかのう しょうがいふくし じぎょうしよ と あつか め、市内企業、一般市民等が発注可能な障害福祉サービス事業所で取り扱って いる物品やサービスを掲載した商品カタログを作成し、各部署に購入を呼びかけ ることで、障害者就労施設等の受注機会の増大を図りました。なお、カタログにつ いては、これまでに2度、改訂を行っています。	げんじやういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する

2 社会参加と多様な学習への支援

		計画	令和3年度実績		
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	取り組み内容	今後の方 向
(1) 生涯学習の推進	文化生涯学習課	社会参加・自立を助ける学習活動	生涯学習事業など、様々な場面で学習機会を提供するとともに、障害者の主体的な学習を支援します。	各生涯学習市民センターにおいて、障害者(関係)団体に対し、施設の早期予約受付、利用料減免、優先利用可の部屋を設けることなどにより、障害者の活動の機会を広く提供しました。 また、点字版のセンター案内のリーフレットを設置しています。	現状維持： これまでの取り組みを継続する
	教育政策課			令和4年1月10日に開催した枚方市成人祭「はたちのつどい」において、聴覚障害者への支援として市長および議長からのビデオレターに字幕スーパーを挿入し、式典会場やホームページで放映しました。また、希望に応じて手話通訳者を配置できる体制をとるとともに、視覚障害者に対しても全19会場に点字版のプログラムを準備しました。 社会教育事業として行う各講座においても、希望する聴覚障害者に対して手話通訳者や要約筆記者を確保する体制をとりました。	現状維持： これまでの取り組みを継続する
(2) 文化・芸術活動への支援	文化生涯学習課	文化・芸術活動の支援	障害者の生きがいづくりと、様々な世代にわたって交流を深めていけるよう、各種の文化・芸術活動を支援します。	生涯学習市民センターのロビー等のスペースに、創作活動の発表の場を設け、障害者(関係)団体を含め、広く市民による展示・発表の機会の場を提供しています。	現状維持： これまでの取り組みを継続する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しやく きの 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく ぐみ 取り組み	とく ぐみ ないよう 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう ほう 向
(2) 文化・芸術活動への支援	ちゆうおうとしよかん 中央図書館	としよかん 図書館サービス	だいかつじとしよ てんじ ろくおん 大活字図書、点字・録音資料、手話・字幕付き映像資料を充実し、対面読書サービスや手話で楽しむおはなし会等バリアフリー行事の実施やICT機器を活用したサービスの検討等を行います。	だいかつじとしよ さつこうにゆう ろくおんとしよ としよ 大活字図書を147冊購入、録音図書（デージー図書）を40タイトル製作・購入するなど、資料の充実を図りました。また、対面読書を全館で113回（内遠隔対面読書は62回）実施しました。行事は、中央図書館では「手話でたのしむおはなし会」を11回開催（参加者延べ98人）。「手話ブックトーク」を2回開催（参加者36人）。学習障害講演会「読み書き障害と読書の役割」を1回開催（参加者31人）。バリアフリー映画上映会は中央図書館で「さよならくちびる」を2回（参加者63人）、牧野図書館「武士の家計簿」を1回（参加者48人）開催しました。 ※新型コロナウイルス感染防止のため、換気や飛沫防止策が取れない分館での対面読書を中止しました。	げんじようじ 現状維持： これまでの とりぐみ けいぞく 取組を継続 する
(3) スポーツ・レクリエーション活動への支援	しょうがいまかく 障害企画課	スポーツ・レクリエーション活動の推進	ふうせん たつきゆう 風船バレーや卓球等のスポーツ事業を定期的に実施し、障害者にスポーツを楽しむ機会を提供するとともに、卓球、ボッチャ、フライングディスク等、利用者ニーズの高い種目を選んで、スポーツ・レクリエーション活動を行います。	れいわ ねんど ひらかたし れんらくかい いたく たつきゆうきょうしつ じっし 令和3年度まで枚方市スポーツ連絡会に委託し、卓球教室、ボッチャを実施し、令和3年度は877人の方が参加されました。令和4年度は枚方市障害者スポーツ協会に委託し、実施するスポーツの種目を増やし、多くの障害者にスポーツを楽しむ機会を提供する。	かくじゆう とりぐみ 拡充：取組 を発展・拡 充させる

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	と 取り組み	と 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(3) スポーツ・レクリエーション活動への支援	スポーツ 振興課	スポーツ・レクリエーション活動の推進	風船バレーや卓球等のスポーツ事業を定期的に実施し、障害者にスポーツを楽しむ機会を提供するとともに、卓球、ボッチャ、フライングディスク等、利用者ニーズの高い種目を選んで、スポーツ・レクリエーション教室を開催します。	総合体育館、渚市民体育館及び伊加賀スポーツセンターにおいて、障害者スポーツの日を設け、障害者スポーツの普及の支援を行いました。渚市民体育館のスクエア事業に関しては、新型コロナの影響もあり「障害者スポーツDAY」の参加者が来られなくなりました。また、令和3年度については、令和2年度に新型コロナの影響で中止になった誰もが一緒にスポーツできる事業の車いすバスケットボール体験を2回開催しました。 ・障害者スポーツスクエア [総合体育館] 延べ195人 月1回開催 (5・6月中止) [伊加賀体育館] 延べ146人 月1回開催 (5・6・9月中止) ・障害者ふれあいスポーツDAY [渚市民体育館] 延べ0人 月1回 (4・5月中止) ・車いすバスケットボール体験 車いすバスケットボール体験会11月開催 参加者18人 車いすバスケットボール体験会12月開催 参加者20人	現状維持： これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する
	スポーツ 振興課	障害者スポーツ活動への支援の実	市立総合スポーツセンター等での、障害者のスポーツ環境の整備や、障害者のレクリエーション活動等の支援に取り組みます。	オストメイト対応トイレを設置し、安心して利用できる環境を整備しています。 総合体育館：男女兼用1か所 陸上競技場：男女兼用1か所 伊加賀体育館：男子1か所 女子1か所 渚市民体育館：男女兼用1か所	現状維持： これまでの 取り組み けいぞく 取組を継続 する

3 あたら せいかつようしき じっせん  
新しい生活様式の実践

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
し かく き 施策の基 ほんもくひよう 本目標	しよかん か 所管課	し かく めい 施策名	と く 取り組み	と く ないよう 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 多様な変化に対応した社会参加	すいしん DX推進 か 課	えんかく しゅわ つうやく た 遠隔手話通訳対 応(タブレット端末 利用)	えんかく たんまつ 遠隔によるタブレット端末 を利用した手話通訳を、 れいわ ねんど ししよ およ 令和2年度は3支所及び けんこう ふくし そうごう そうだん たんとう 健康福祉総合相談担当 まどぐち じっし きんきゆうじ 窓口で実施。また緊急時 の対応においても実施。 こんご こじん はけん 今後は、個人派遣につい ても対応できるよう整備を おこな 行う。	さくねんど ひ つづ しやうがいふくし たんとう しみんしつ ほんかん かい ししよ こくみん けんこう ほけん 昨年度に引き続き、障害福祉担当、市民室(本館1階、3支所)、国民健康保健 室、中央図書館に設置し、運用を行った。	げんじよういじ 現状維持:  これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	しやうがいまかく 障害企画 か 課			れいわ ねん がつ にち しんきぎぎょう えんかくしゅわつうやく はじ 令和3年4月1日から新規事業として遠隔手話通訳サービスを始めました。 ■遠隔手話通訳サービス れいわ ねんど りようしゃ すう めい ・令和3年度の利用者数: 60名 りよう けんすう けん ・利用件数: 608件	げんじよういじ 現状維持:  これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する



		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しきく 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	と 取り組み	と 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(3) 先進技術による支援ツールの活用	DX推進課	行政サービスの電子申請に向けた取り組み	電子申請により、市民の利便性の向上を図るため、対応可能な業務から順次対応していきます。	令和3年6月より、市の様々な手続のオンライン化を図るため、汎用的電子申請サービスを導入し、厳格な本人確認等を必要としない軽易な手続を中心に、全庁での活用を進めました。 本サービスの利用に際しては、視覚障害を持つ職員の意見も参考に、読み上げ等がスムーズに行えるよう、サービス提供事業者へ要望し、改善を図りました。 また、国の電子申請サービスである「ぴったりサービス」や来庁しての手続きを事前予約する「来庁予約システム」といった既存の取り組みをあわせ、全庁で98の手続きをオンライン化(令和4年3月11日時点)しました。	拡充: 取組を発展・拡充させる

5. 身近な相談窓口の充実ときめ細やかな情報提供

1 相談・支援体制の充実

		計画		令和3年度実績	
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	取り組み内容	今後の方 向
(1) 相談・支援体制の充実ときめ細やかな情報提供	障害企画課	障害者の相談支援体制	障害者からの相談に応じ、必要な情報提供および助言、サービスの利用など関係機関と連携しつつ、地域の社会資源を活用し必要な援助を行います。また、センター間の連携の機能強化を行い、より専門的な対応ができるように、相談支援センターの体制の充実を図ります。	新たに相談支援センター機能を併せ持つ地域活動支援センターⅢ型1か所が、令和3年4月に開設となり、7法人を障害者地域生活支援事業における相談支援センターとし、相談支援事業を委託しています。福祉サービスの利用援助、社会資源を活用するための援助や支援等を委託内容とし、そのうち2法人はピアカウンセリングを行うなど、利用を希望する障害者に対応しています。また、そのうちの3法人については、基幹相談支援センターとして位置付け、身体・知的・精神障害者等に対応した総合的な相談支援の窓口の設置や、特定相談支援事業所及び一般相談支援事業所が困難と感じる事例への後方支援などを行うことで、センター間の連携の機能強化を行い、より専門的な対応ができるよう相談支援センターの体制の充実に努めました。	現状維持： これまでの 取組を継続 する
	障害企画課	ひらかたしじりつしえん 枚方市自立支援協議会	相談支援センターをはじめ、地域の関係機関が集まり、障害者が自立した地域生活を営む上で必要となるサービス基盤や人材社会資源の確保などについて検討を行います。	毎月、枚方市自立支援協議会幹事会を開催し、各部会からの報告や今後のサービス基盤整備の方向性等について協議を行いました。また毎年度開催することとしている枚方市自立支援協議会全体会を開催し、相談支援センターの実績報告等について、評価・検証を行いました。	現状維持： これまでの 取組を継続 する

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和3年度実績	
しやく ぎ 施策の基 ほんもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	と 取り組み	と 取り組み内容	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 相談・支援体制の充実と きめ細やかな情報提供	しょうがいしえん 障害支援 課	びょういん にゆうしよせつ 病院、入所施設か ら ちい きい こう の地域移行	たいいん たいしよ しょうがいしや 退院・退所した障害者が ちい き じりつ せいかつ おく 地域で自立した生活を送 れるよう、関係機関や相 談支援センターとともに、 ひつよう そうだん しえん おこな 必要な相談や支援を行え る体制づくりを進めます。	ひらかたし じりつ しえん きようぎかい せんもん ぶんかかい せいしんしやうがいしやちいき せいかつ しえん ぶかい せつ 枚方市自立支援協議会の専門分科会として精神障害者地域生活支援部会を設 置し、関係機関の協力のもと、枚方市内精神科病院の社会的入院患者に対し ほうもんめんせつとう じっし ちいき いこう そくしん おこな 訪問面接等を実施し、地域移行の促進を行っています。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいしえん 障害支援 課	ちいきでいちやくしえん 地域定着支援	ちい きい こう ご 地域移行後や「ひきこも り」等、地域との接点があ ない障害者に対し、地域 でいきいきと安定した生 活を営めるよう訪問など する中で、必要な支援を ちい き しゃかいしげん かつよう 地域の社会資源を活用し ながら、関係機関と連携し すす 進めます。	あんしん ちいき せいかつ いとな かんけいきかん れんけい ひつよう じょうほうかん おこな 安心して地域生活が営めるよう、関係機関と連携し、必要な情報交換を行いなが ら支援を行っています。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ けいぞく 取組を継続 する
	しょうがいきかく 障害企画 課	ちいきせいかつしえんきよてん 地域生活支援拠 点の整備	そうだん ひとり ぐ 相談、一人暮らしやグ ループホーム等の体験の きかい ば きんきゆうじ うけい 機会の場、緊急時の受入 れや対応等の機能を有し た地域生活支援拠点の せいび すす 整備を進めます。	しょうがいふくしけいかく だい き わいわ ねんどまつ せつち もくひょう かか ちい 障害福祉計画(第6期)において、令和5年度末までの設置を目標と掲げている地 域生活支援拠点について、毎月開催の枚方市自立支援協議会幹事会及び、枚 方市自立支援協議会相談支援部会場で、引き続き検討を行っているところ です。	かくじゆう とりくみ 拡充：取組 を発展・拡 充させる

2 関係機関との連携による支援の充実

		計画		令和3年度実績	
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	取り組み内容	今後の方 向
(1) 関係機関との連携による支援の充実	障害企画課	多様な手法による わかりやすい情報 提供	障害者の福祉サービス制 度利用を促進するため に、サービスの内容、手 続きの方法等を掲載した パンフレットやポスター、 広報ひらかた、ホーム ページ、窓口での対応な どによってわかりやすい 情報提供に努めます。	障害者手帳を交付する際、障害者に係る福祉制度や手続き方法を掲載した冊子「福祉のてびき」を窓口で配布し、内容を説明しました。 また、市内各支所及び障害者相談支援センター7か所への冊子の設置や枚方市ホームページへの冊子データの掲載をすることにより、福祉サービス制度の周知に努めました。	現状維持： これまでの 取り組み、けいぞく 取組を継続 する
	障害支援課	医療的ケア児等支 援連絡会議	連絡会議を通じ、医療的 ケア児の在宅生活を支援 する関係機関による意見 交換や情報提供を図りま す。	医療的ケア児等支援連絡会議を開催し、医療的ケア児に関する情報共有を図るとともに、関係機関から報告のあった支援の現場での課題について意見交換を 実施しました。	現状維持： これまでの 取り組み、けいぞく 取組を継続 する